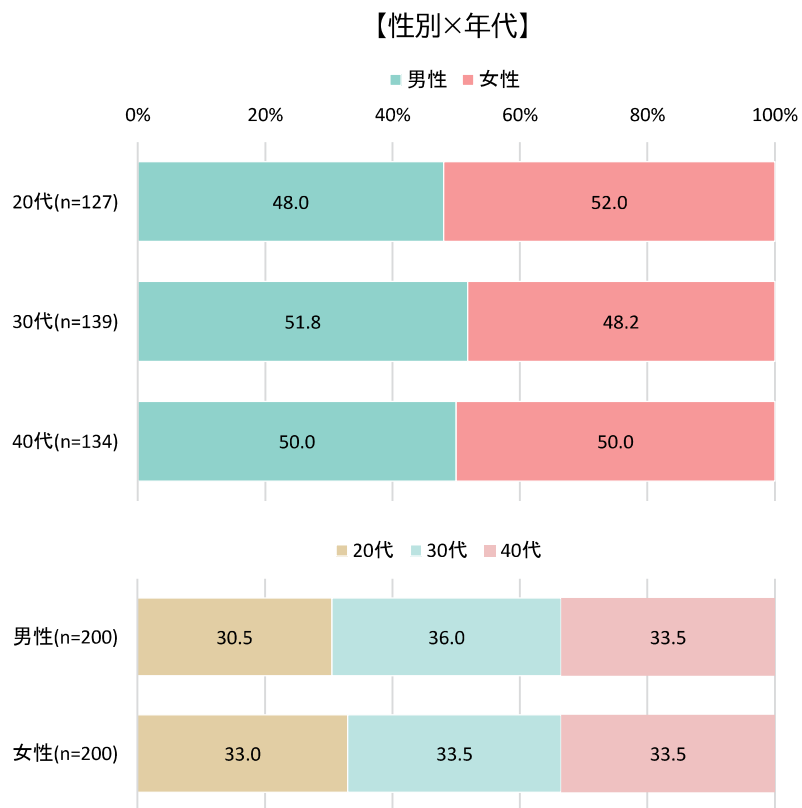
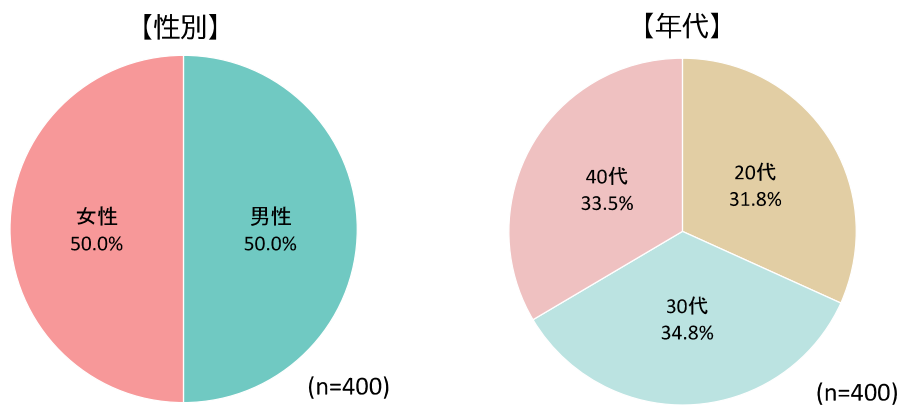


## 2. 調査結果① [全体および性別/年代/性年代別]

### (1) 対象者自身について

可能な限り男女比、年代比が等分となるよう対象者をサンプリングしたため、性別・年代別の割合は以下のとおりとなっている。



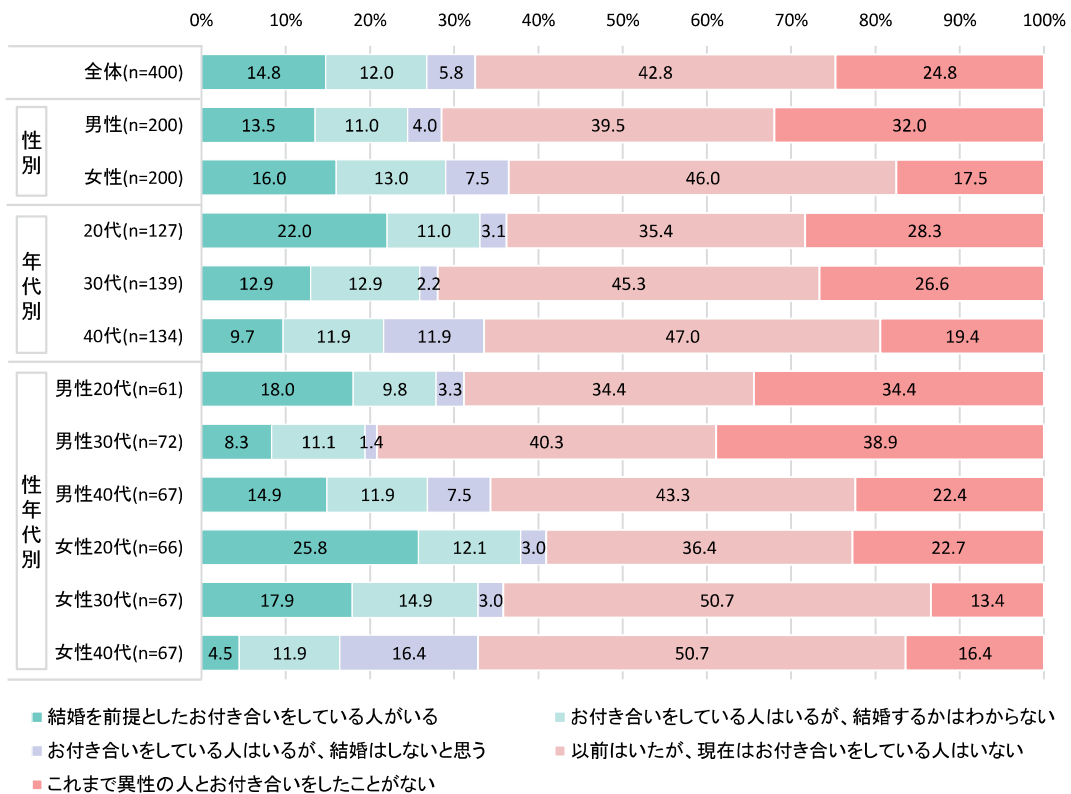
## (2) 恋人との交際について

あなたは現在、お付き合いしている方がいますか。

現在交際相手がいるかについて聞いたところ、全体では「以前はいたが現在はいない」が42.8%と最も多く、「これまで交際経験がない」が24.8%で続いており、67.5%が「交際している異性はいない」としている。

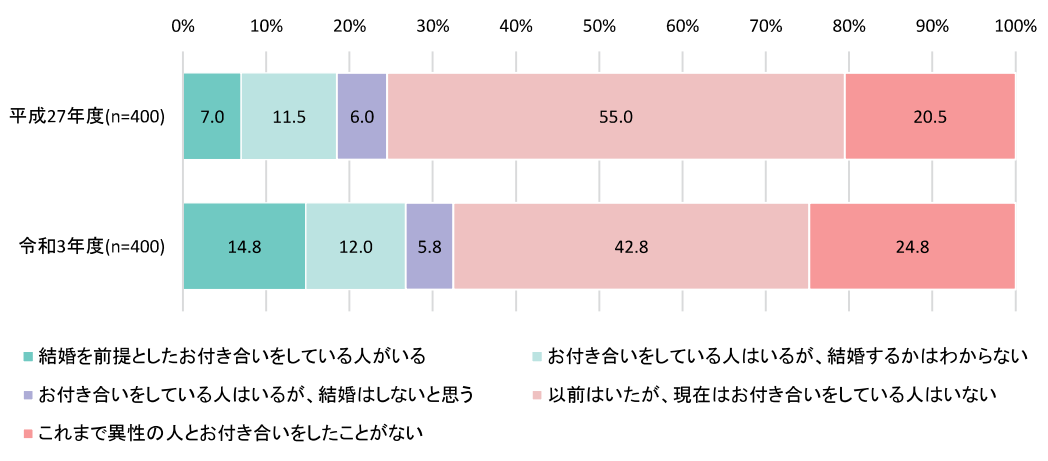
男女別で見ると、「交際している異性がない」男性は71.5%、女性は63.5%となっており、男性の方が8ポイント高くなっている。

年代別で見ると、いずれの年代も「以前はいたが現在はいない」という回答が最も多い。また、年代が上がるにつれて「結婚を前提とした交際相手がいる」の割合が低くなっている。



平成 27 年度と比較すると、「結婚を前提とした交際相手がいる」が 8 ポイント程度増加し、「以前はいたが現在はいない」が 12 ポイント程度減少している。  
 「交際している異性はいない」は 8 ポイント減少している。

【平成 27 年度調査との比較】



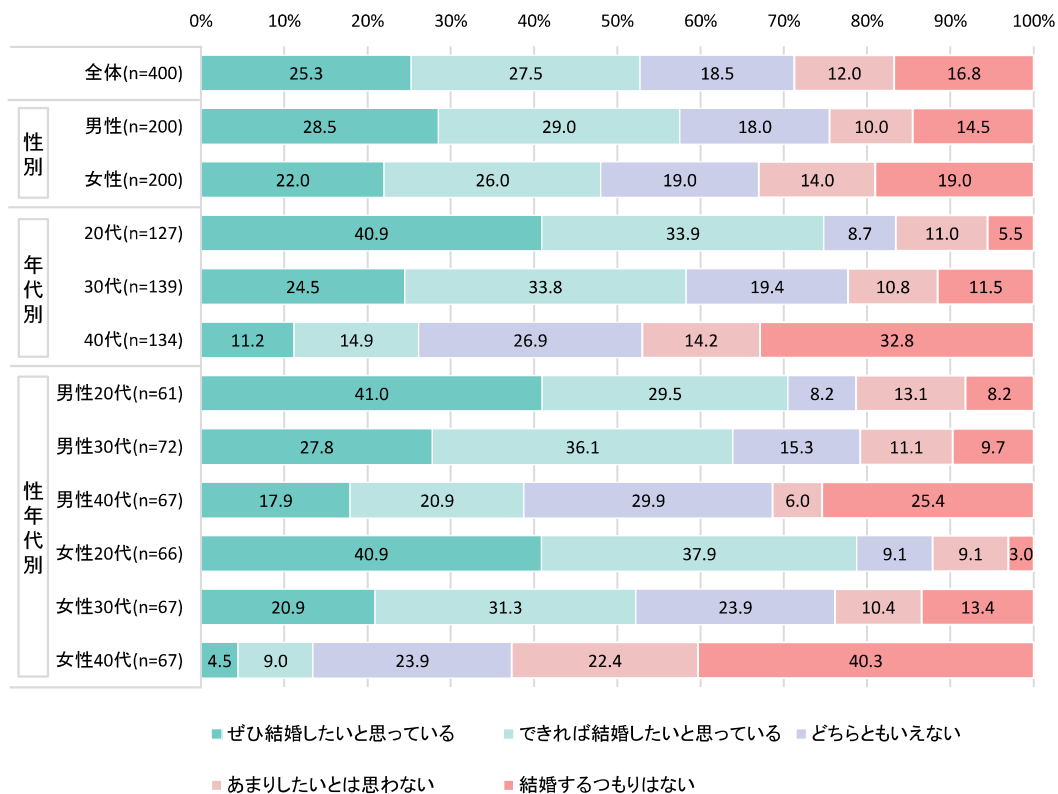
### (3) 結婚に対する意識について

あなたは、結婚したいと思いますか。

結婚の意向を聞いたところ、全体では「できれば結婚したい」が 27.5%、「ぜひ結婚したい」が 25.3%となっており、52.8%が「結婚したい」と考えている。

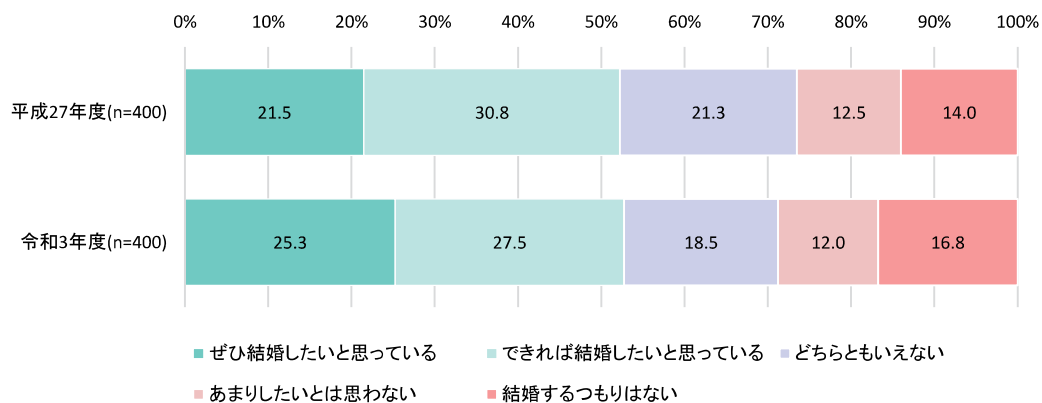
男女別で見ると、「結婚したい」男性は 57.5%、女性は 48%となっており、男性の方が 10ポイント程度高くなっている。

年代別で見ると、年代が上がるにつれて「結婚したい」人の割合は低くなり、「結婚したくない」人の割合が高くなっている。特に 40 代女性においては、40.3%が「結婚するつもりはない」と回答している。



平成 27 年度と比較すると、各回答の割合に大きな変化は見られない。

【平成 27 年度調査との比較】



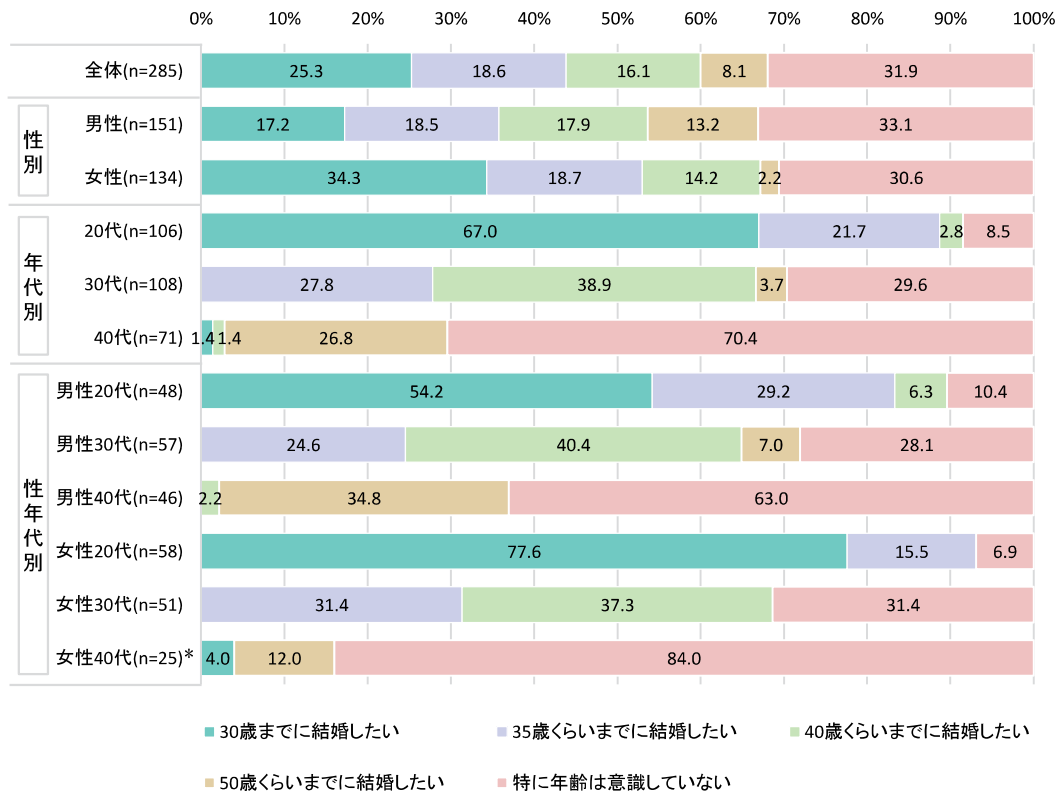
前問で「ぜひ結婚したいと思っている」「できれば結婚したいと思っている」「どちらともいえない」とお答えの方にお伺いします。

いつ頃までに結婚したいと思いますか。

結婚することを考えている人に、いつ頃までに結婚したいか聞いたところ、全体の 31.9% が「特に年齢は意識していない」と回答している。

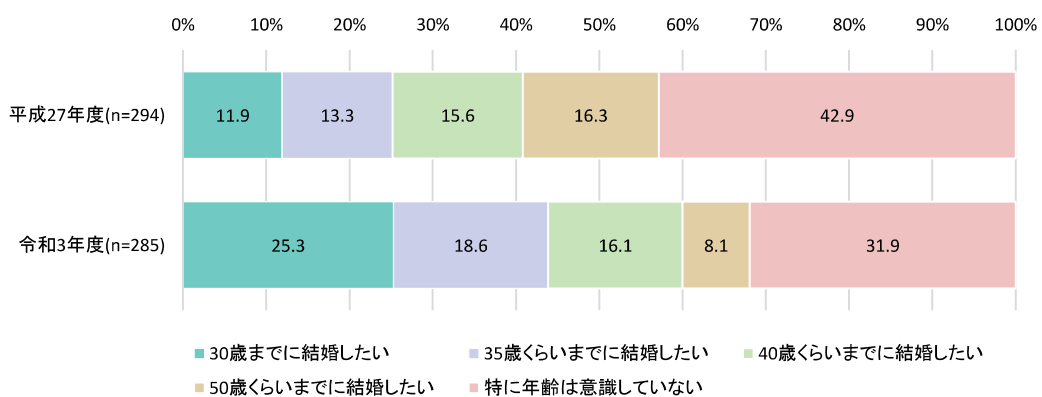
男女別で見ると、「30 歳までに」は女性の方が 17 ポイント程度高くなっており、「50 歳までに」は男性の方が 11 ポイント高くなっている。

年代別で見ると、20 代の 67% は「30 歳までに」、30 代の 66.7% は「35 歳までに・40 歳までに」と回答しており、20 代～30 代では約 6 割の人が現在の年代で結婚したいと考えている。一方、40 代では 70.4% の人が「特に年齢は意識していない」と回答している。



平成 27 年度と比較すると、「30 歳までに」は 13 ポイント程度増加している。また、「50 歳までに」は 8 ポイント程度、「特に年齢は意識していない」は 11 ポイント程度減少している。

【平成 27 年度調査との比較】

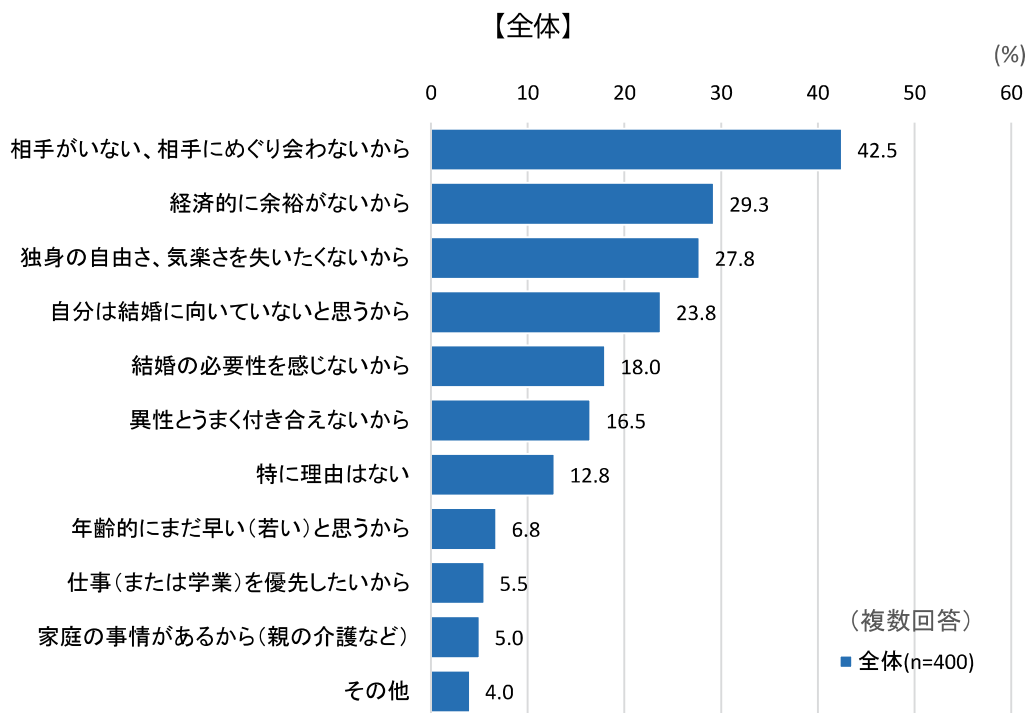


現在、未婚の理由は何ですか。あてはまるものを3つまでお選びください。

現在結婚していない理由を3つまで聞いたところ、全体では「相手がない」が42.5%で最も多く、次いで多いのは「経済的に余裕がない」、「独身の自由さを失いたくない」で、それぞれ約30%程度となっている。

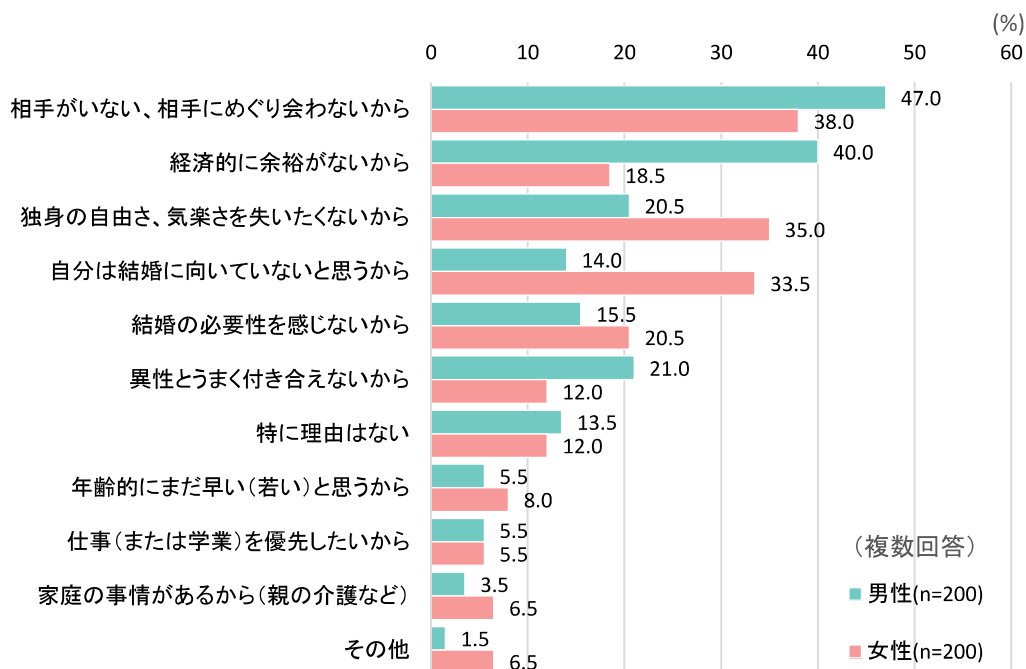
男女別で見ると、「経済的に余裕がない」は男性の方が女性よりも22ポイント程度高くなっている。また、「結婚に向いてないと思う」は20ポイント程度、「独身の自由さを失いたくない」は15ポイント程度女性の方が男性よりも高くなっている。

年代別で見ると、20代、30代では男女とも「相手がない」が最も多いが、40代男性では「経済的に余裕がない」が最も多く、40代女性では「結婚に向いてないと思う」が最も多い。また、年代が上がるにつれて「結婚の必要性を感じない」が増える傾向にある。30代男性の31.9%は「異性とうまく付き合えない」を理由に挙げている。

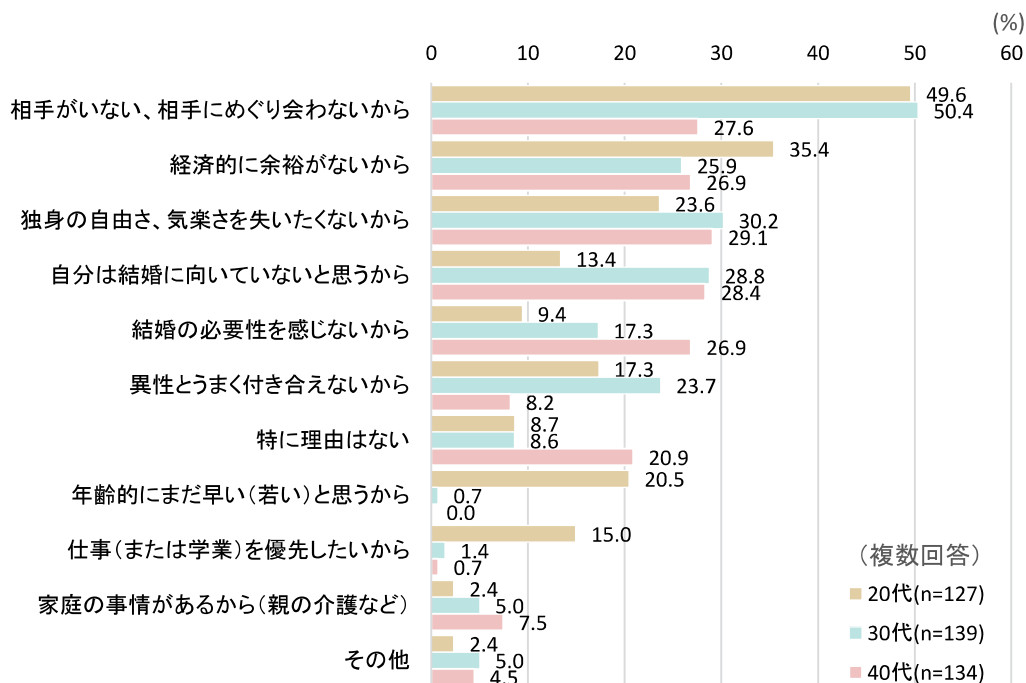




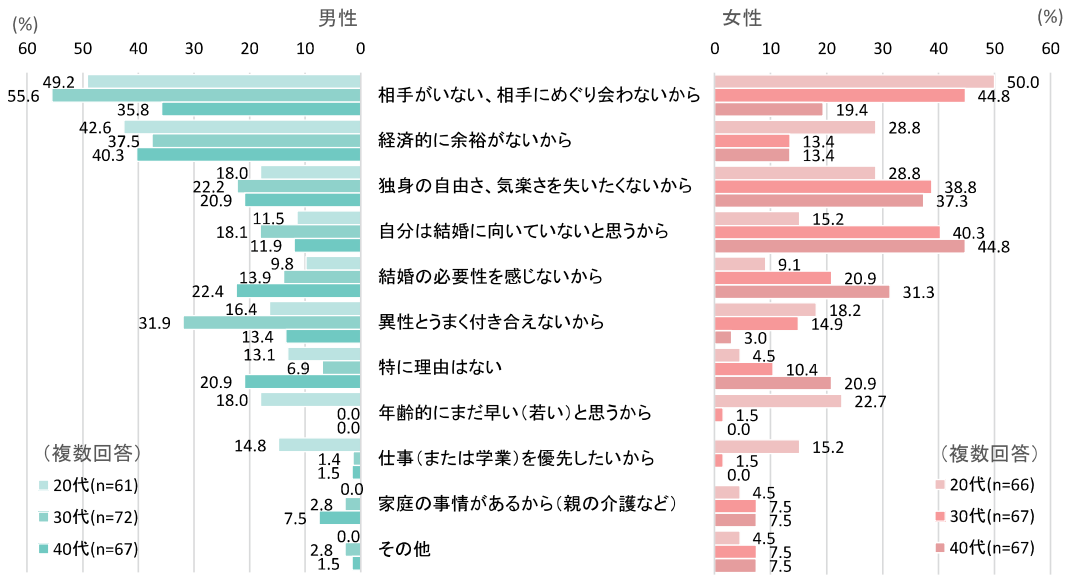
【性別】



【年代別】

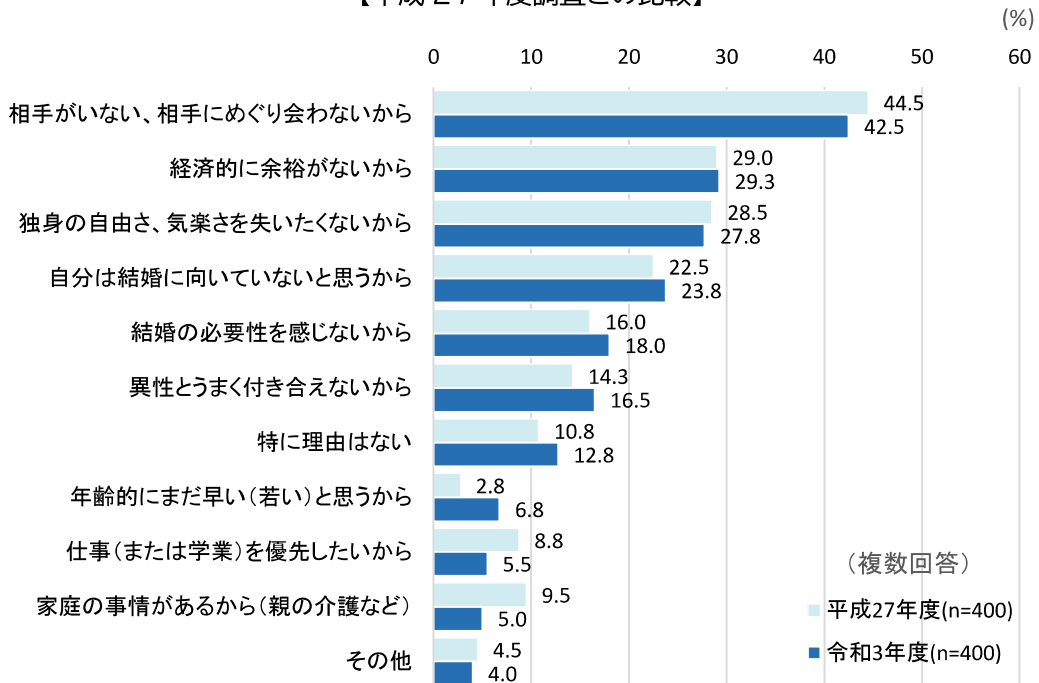


## 【性年代別】



平成 27 年度と比較すると、各回答の割合に大きな変化は見られない。

## 【平成 27 年度調査との比較】

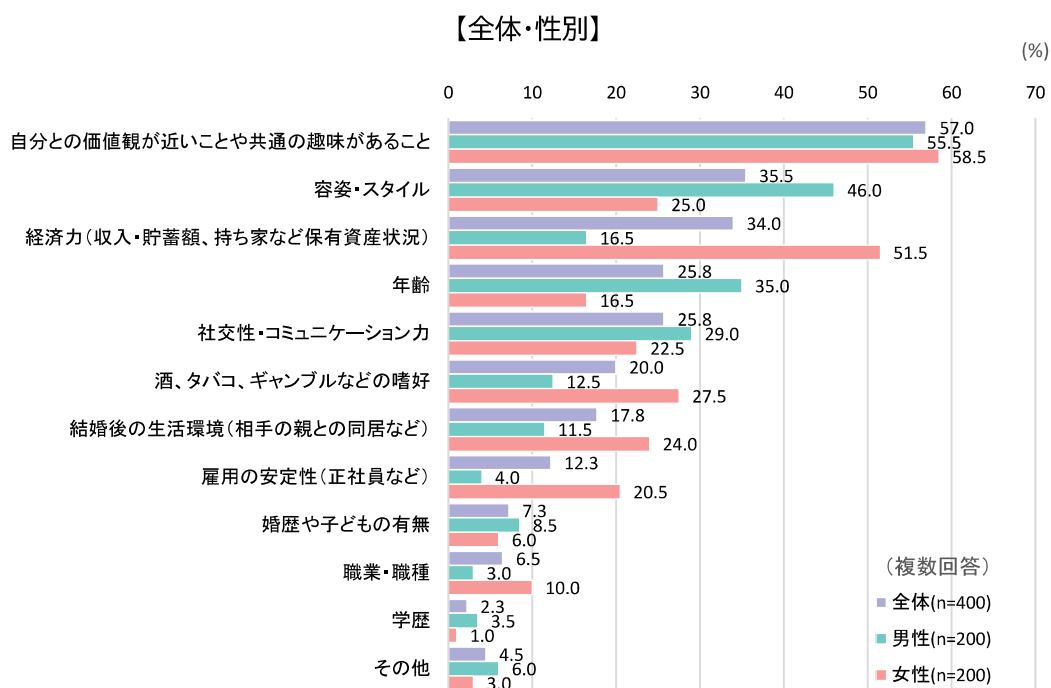


あなたが結婚を考えると、結婚相手としてこだわるポイントは何ですか。あてはまるものを3つまでお選びください。

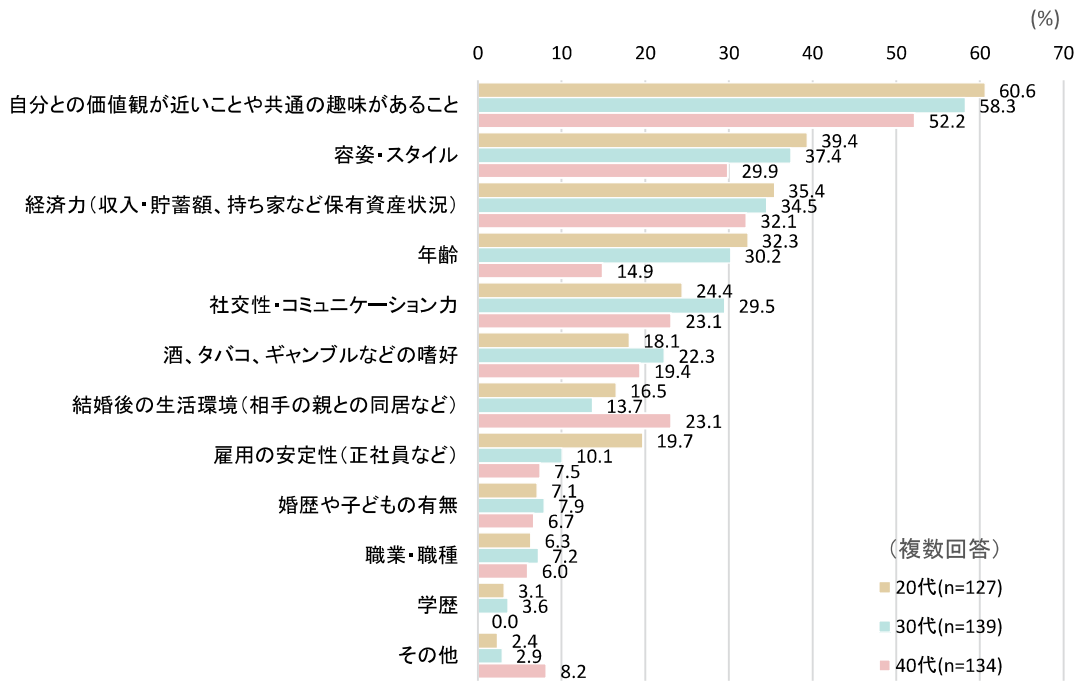
結婚相手としてこだわるポイントを3つまで聞いたところ、全体では「価値観が近い」が57%で最も多く、「容姿・スタイル」35.5%、「経済力」34%と続いている。

男女別で見ると、男性は女性よりも「容姿・スタイル」で21ポイント、「年齢」で19ポイント程度高くなっている。また、女性は男性よりも「経済力」で35ポイント、「雇用の安定性」で17ポイント程度、「酒・タバコ・ギャンブルなどの嗜好」で15ポイント、「結婚後の生活環境」で13ポイント程度高くなっている。

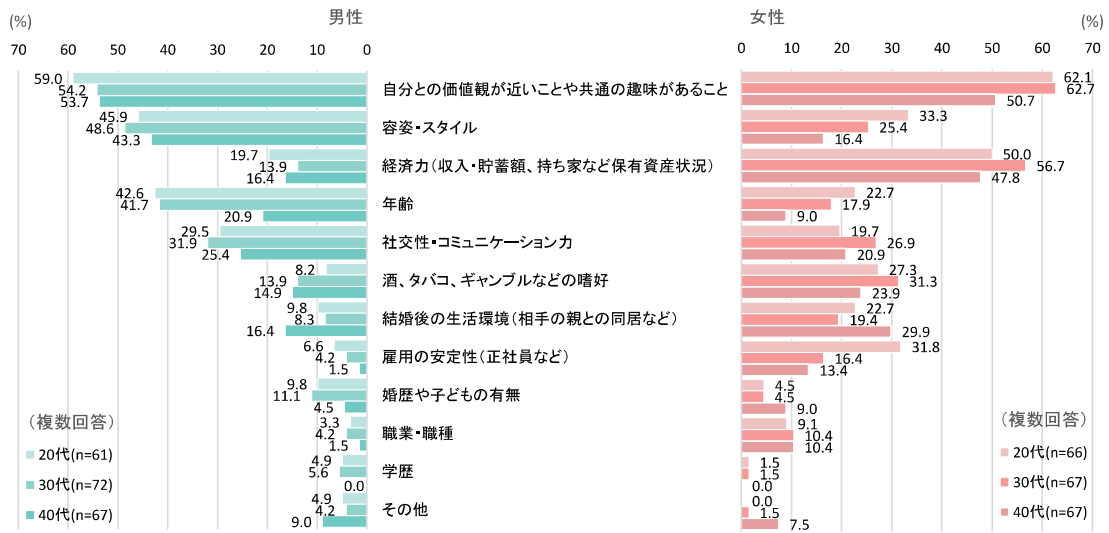
年代別で見ると、20代、30代で「年齢」と回答する人はいずれも30%程度だが、40代では15%程度となっており、約2倍の差がある。「雇用の安定性」については、20代女性で31.8%となっており、他の年代より2倍程度高くなっている。



### 【年代別】



### 【性年代別】



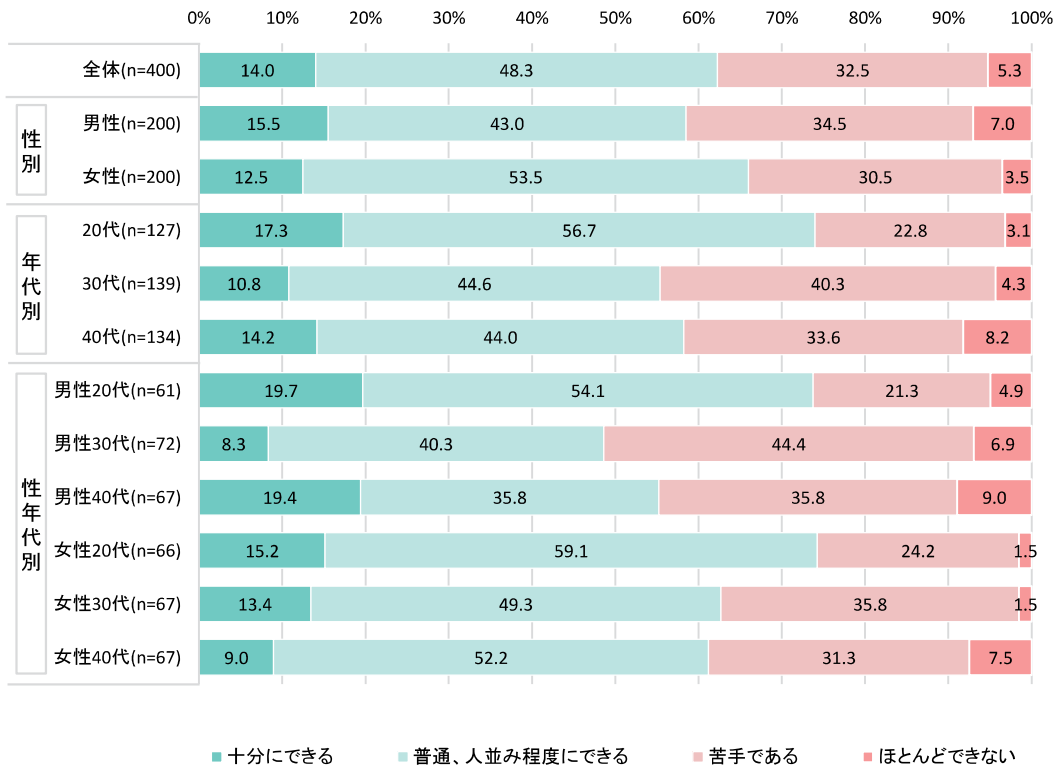
#### (4) 異性との関わりについて

あなたは、異性と話をしたり、コミュニケーションをとることがどの程度できていると感じていますか。

異性とコミュニケーションをとることがどの程度できるか聞いたところ、全体では 32.5%が「苦手」、5.3%が「ほとんどできない」と回答している。

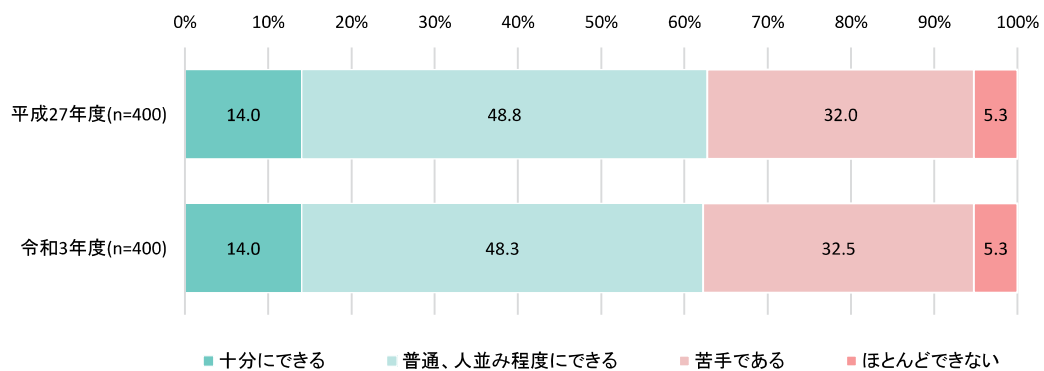
男女別で見ると、「苦手・ほとんどできない」と回答した男性は 41.5%、女性は 34%であり、男性の方が女性より 7 ポイント程度高くなっている。

年代別で見ると、「苦手・ほとんどできない」と回答した男性は 20 代では 26.2%だが、30 代では 51.4%、40 代では 44.8%であり、20 代より 18 ポイント以上高くなっている。



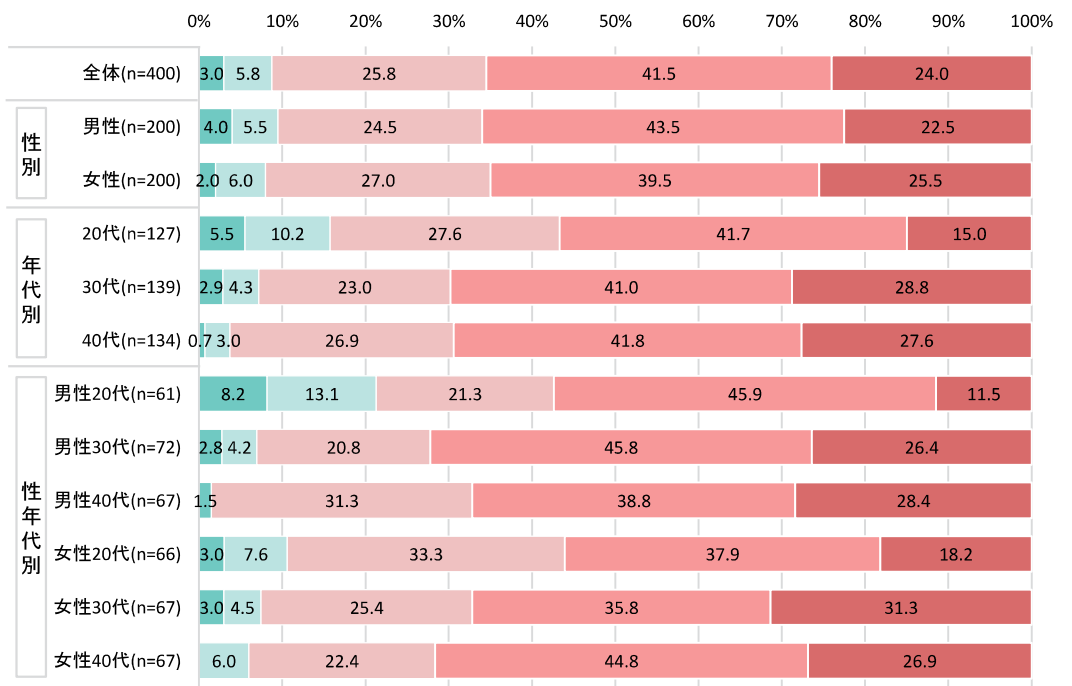
平成 27 年度と比較すると、各回答の割合に変化は見られない。

【平成 27 年度調査との比較】



あなたは、独身の異性との出会いの機会について、どう感じていますか。

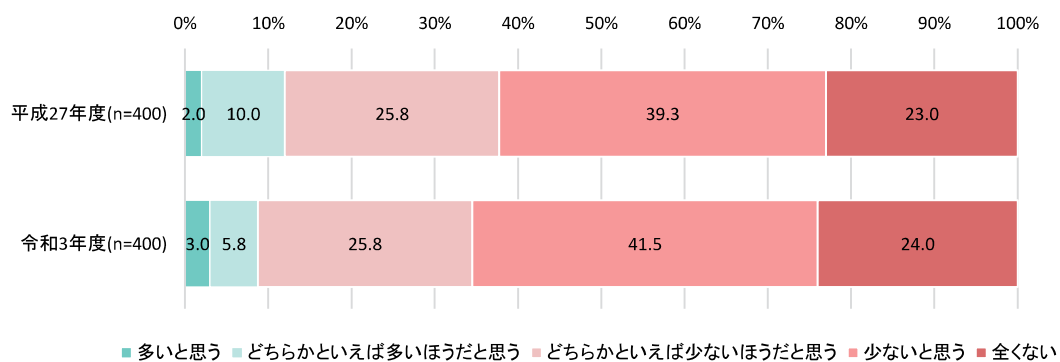
異性との出会いの機会について聞いたところ、全体の 91.3%が「どちらかといえば少ない・少ない・全くない」と回答している。  
 男女別では、各回答の割合に大きな差は見られない。  
 年代別で見ると、年代が上がるにつれ「どちらかといえば少ない・少ない・全くない」と回答する人の割合が高くなっている。



■ 多と思う ■ どちらかといえば多いほうだと思う ■ どちらかといえば少ないほうだと思う ■ 少ないと思う ■ 全くない

平成 27 年度と比較すると、各回答の割合に大きな変化は見られない。

【平成 27 年度調査との比較】





## (5) 婚活への取り組みについて

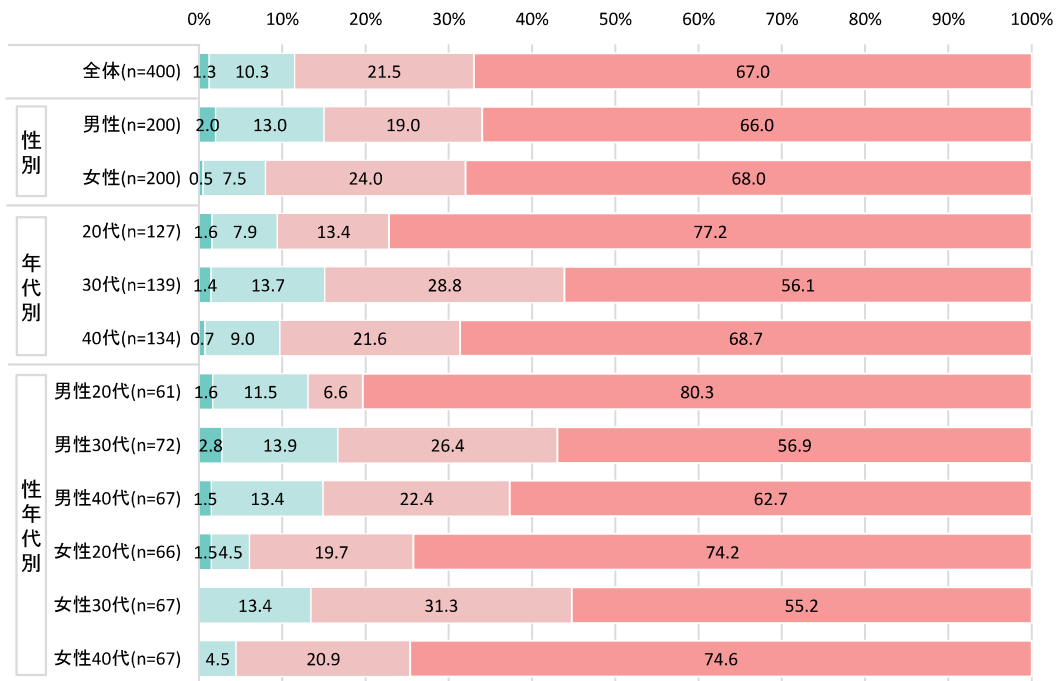
現在、あなたは婚活(結婚をめざした活動)をしていますか。

※婚活にはイベントやセミナーなどへの参加のほか、知人などから異性の紹介を受けたり、結婚関連サービス(結婚相談所等や婚活サイト・アプリ)を利用したりすることをいいます。

婚活への取り組みについて聞いたところ、「現在婚活をしている」人は全体の 11.5%にとどまっており、「婚活をしたことがない」人は 67%となっている。

男女別で見ると、「現在婚活をしている」人の割合は男性の方が女性よりも 7 ポイント高くなっている。

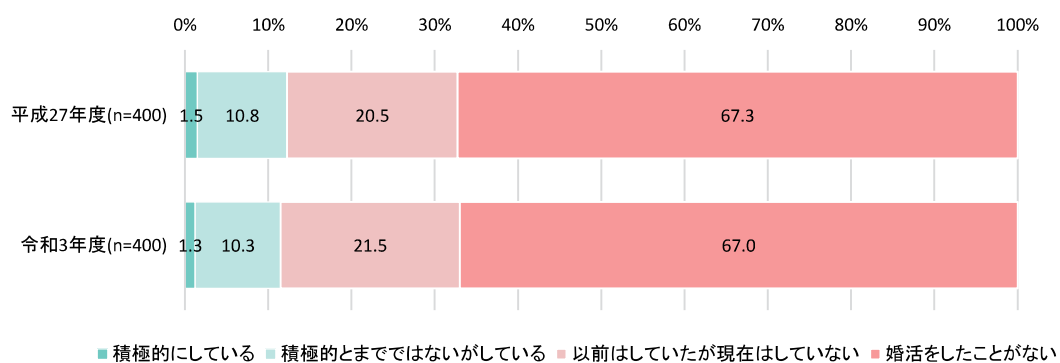
年代別で見ると、「現在婚活をしている」人の割合は 30 代が最も高い。また、「以前はしていたが現在はしていない」人の割合も 30 代が最も高い。



■ 積極的にしている ■ 積極的とはまでではないがしている ■ 以前はしていたが現在はしていない ■ 婚活をしたことがない

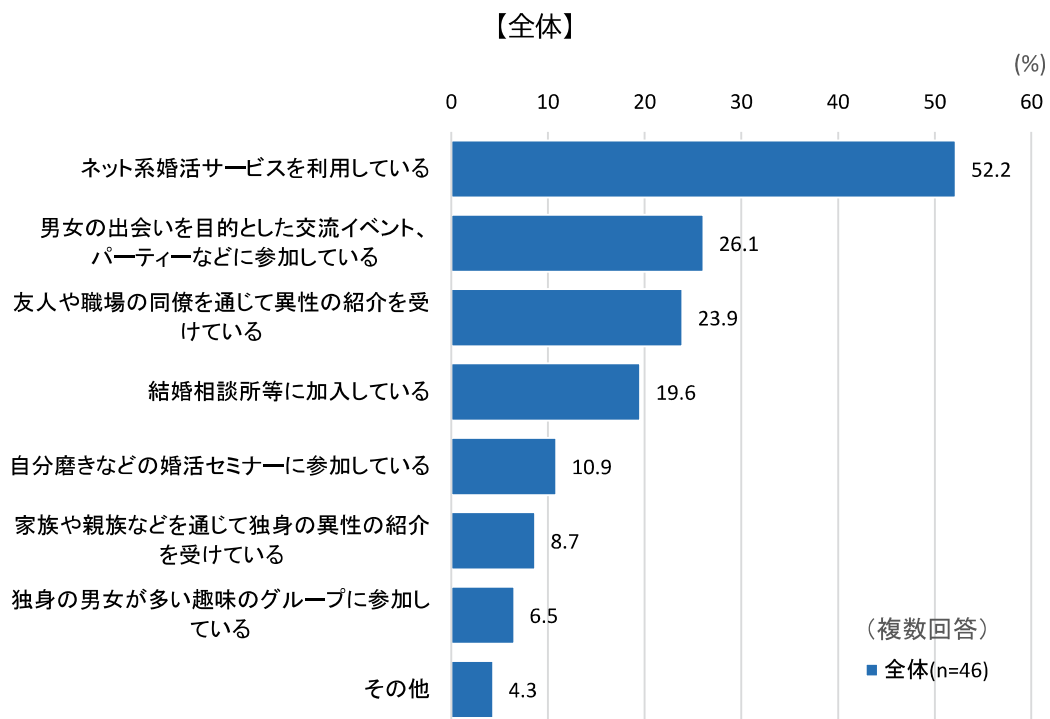
平成 27 年度と比較すると、各回答の割合に大きな変化は見られない。

【平成 27 年度調査との比較】

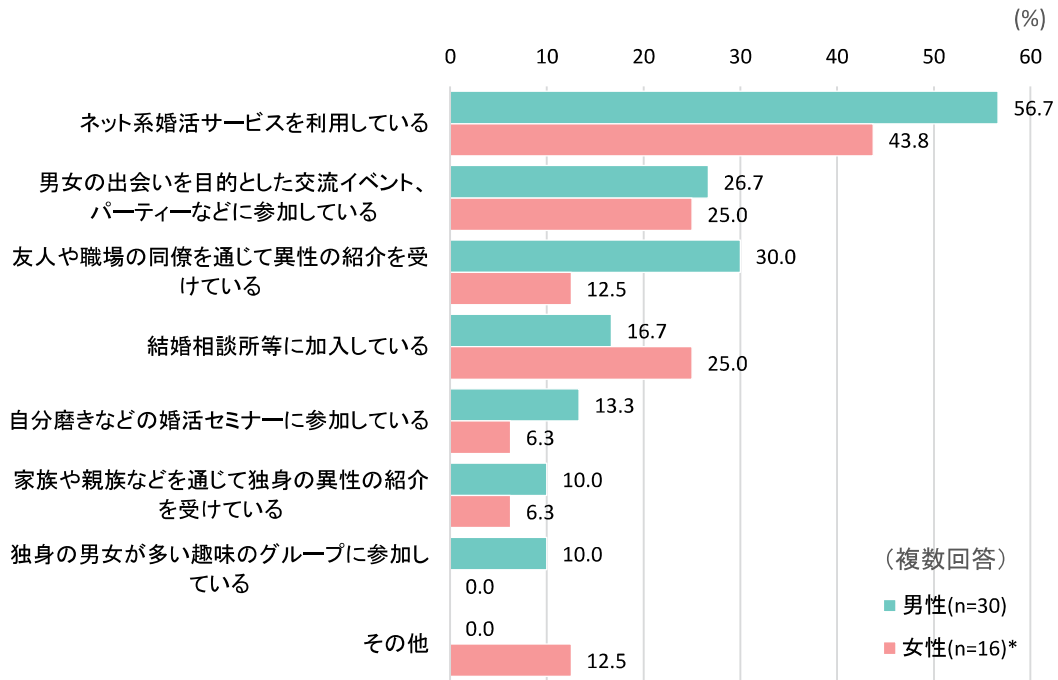


前問で「積極的にしている」「積極的とまではないがしている」を選択された方にお伺いします。  
具体的にどのような婚活を行っていますか。(いくつでも)

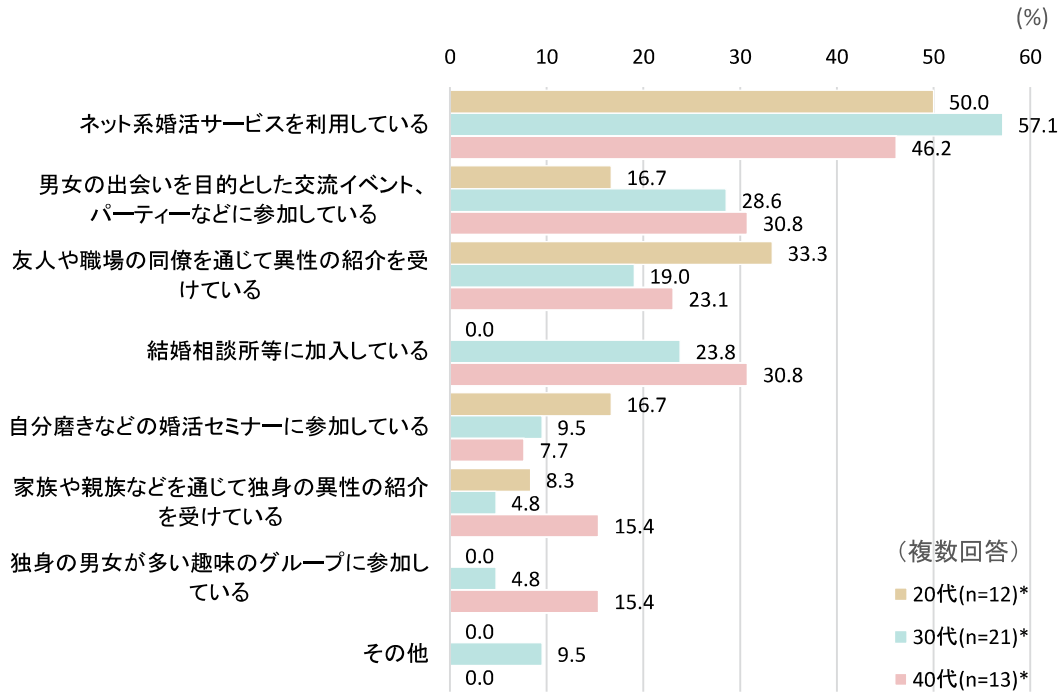
「婚活をしている」と回答した人に、どのような活動を行っているか聞いたところ、全体では「ネット系婚活サービスを利用している」が 52.2%と最も多く、「交流イベント、パーティーに参加している」26.1%、「友人や職場の同僚を通じて紹介を受けている」23.9%と続いている。



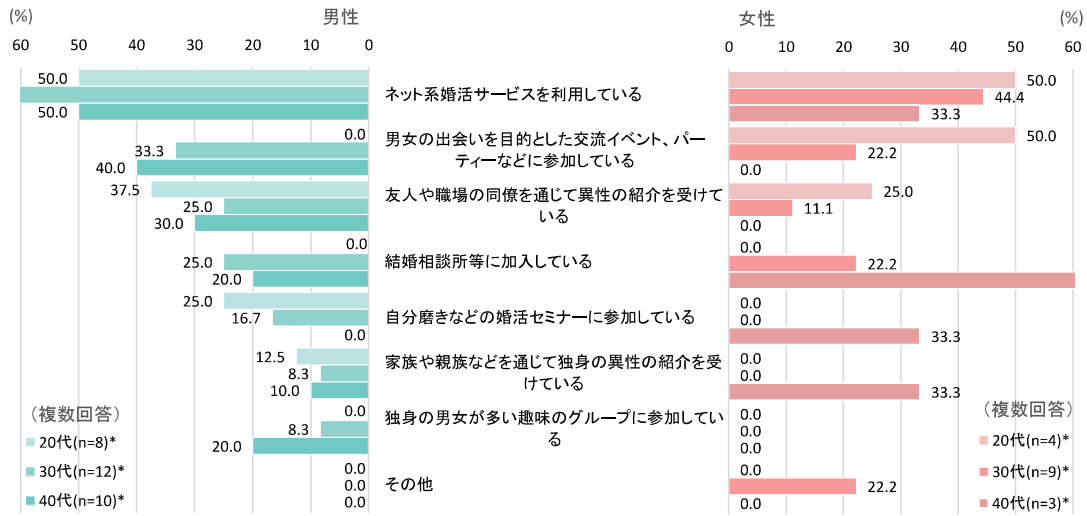
【性別】



【年代別】

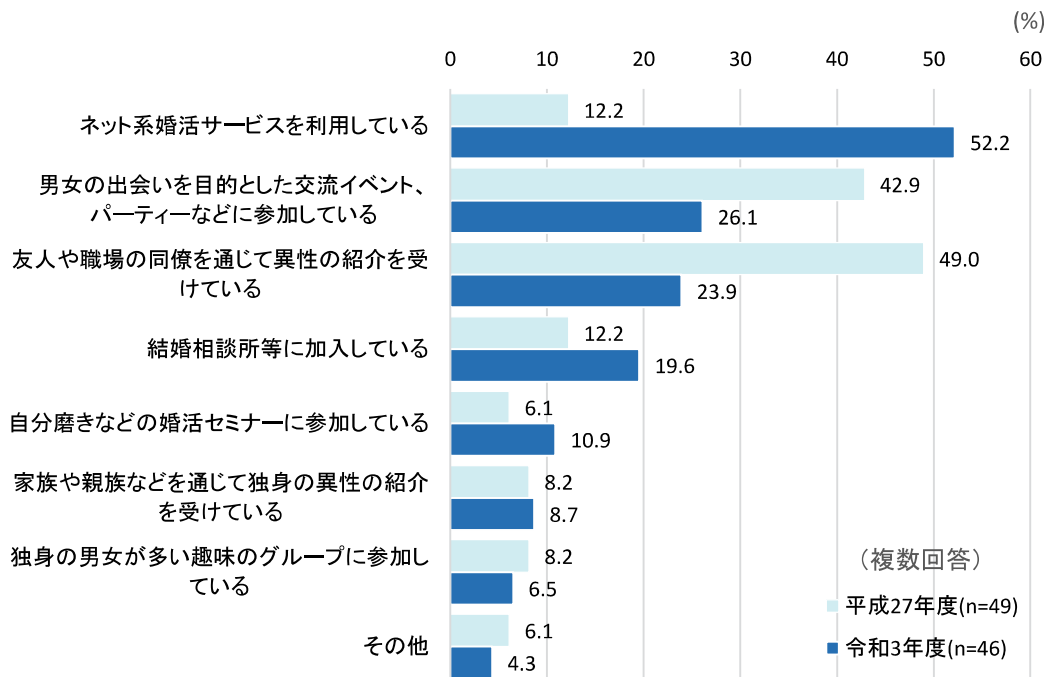


## 【性年代別】



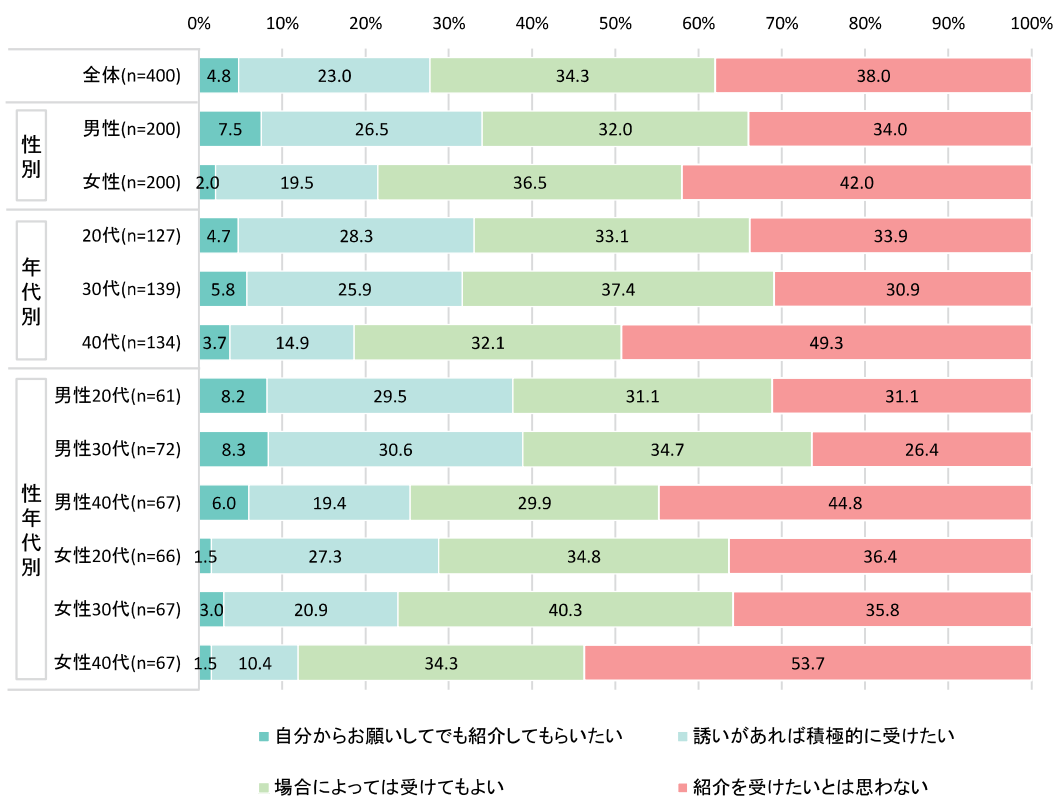
平成 27 年度と比較すると、「ネット系婚活サービスを利用している」は 40 ポイント程度増加している。一方、「友人や職場の同僚を通じて紹介を受けている」は 25 ポイント程度、「交流イベント、パーティーに参加している」は 17 ポイント程度減少している。

## 【平成 27 年度調査との比較】



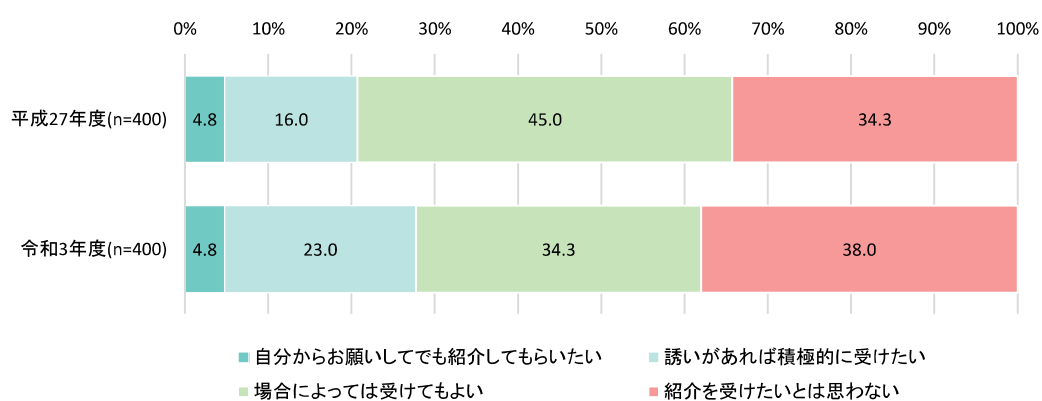
「お見合い」や「異性を紹介されること」について、あなたはどうお考えですか。

お見合いや異性の紹介についての考えを聞いたところ、全体の 62%が「紹介を受けたい（自分からお願いしてでも紹介を受けたい・誘いがあれば積極的に受けたい・場合によって意は受けてもよい）」と回答している。  
 男女別で見ると、「紹介を受けたい」は男性の方が女性よりも 8 ポイント高くなっている。  
 年代別で見ると、「紹介を受けたい」は 30 代が 69.1%で最も高く、40 代は 50.7%で最も低くなっている。



平成 27 年度と比較すると、「紹介を受けたい」は 4 ポイント程度の減少で大きな変化は見られないが、その内訳を見ると、「誘いがあれば積極的に受けたい」が 7 ポイント増加し、「場合によっては受けてもよい」が 11 ポイント程度減少している。

【平成 27 年度調査との比較】



前問で「自分からお願いしてでも紹介してもらいたい」「誘いがあれば積極的に受けたい」「場合によっては受けてもよい」とお答えの方にお伺いします。

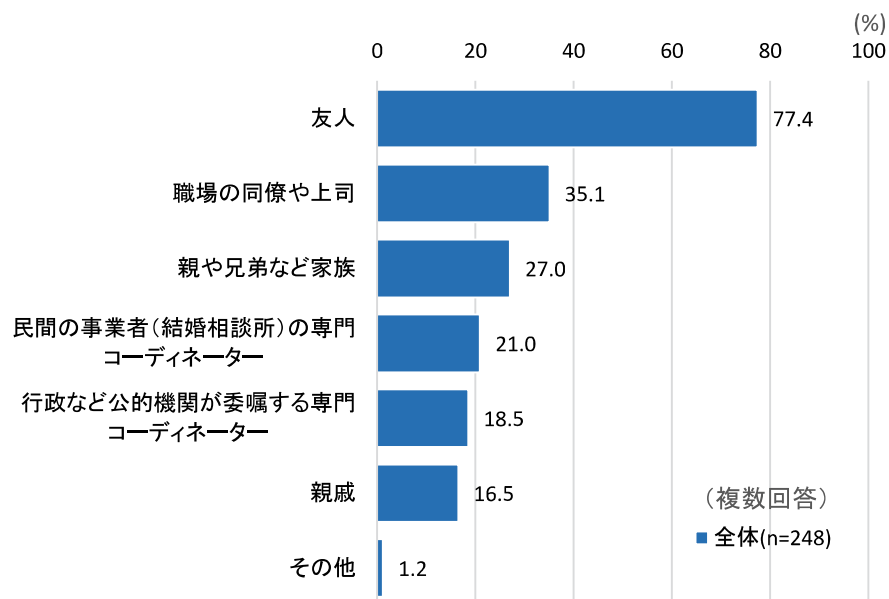
紹介を受けるとしたら、どのような人からの紹介がいいですか(いくつでも)

お見合いや異性を紹介するのに望ましい人としては、全体では「友人」が 77.4%と最も多く、「職場の同僚や上司」35.1%、「家族」27%と続いている。

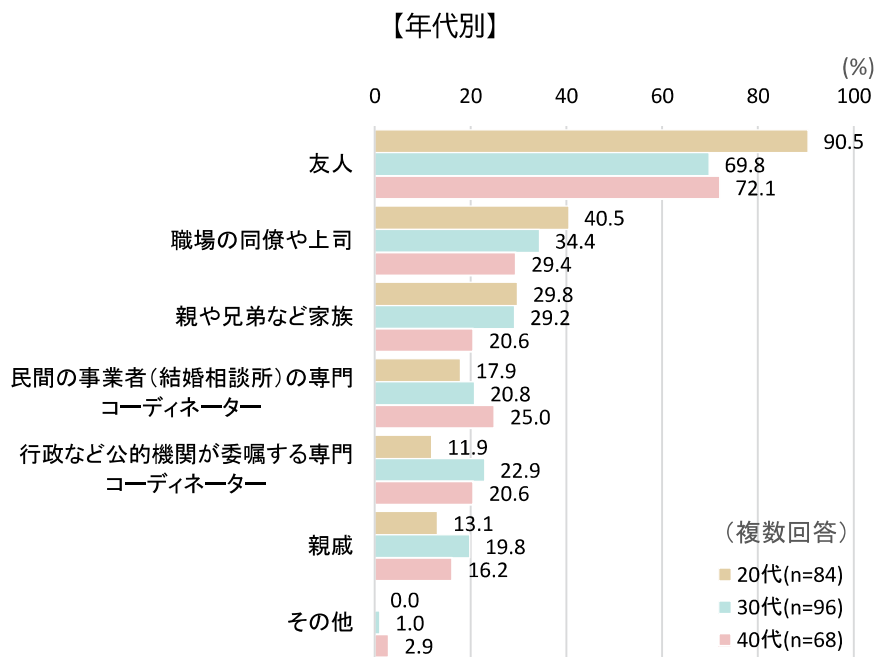
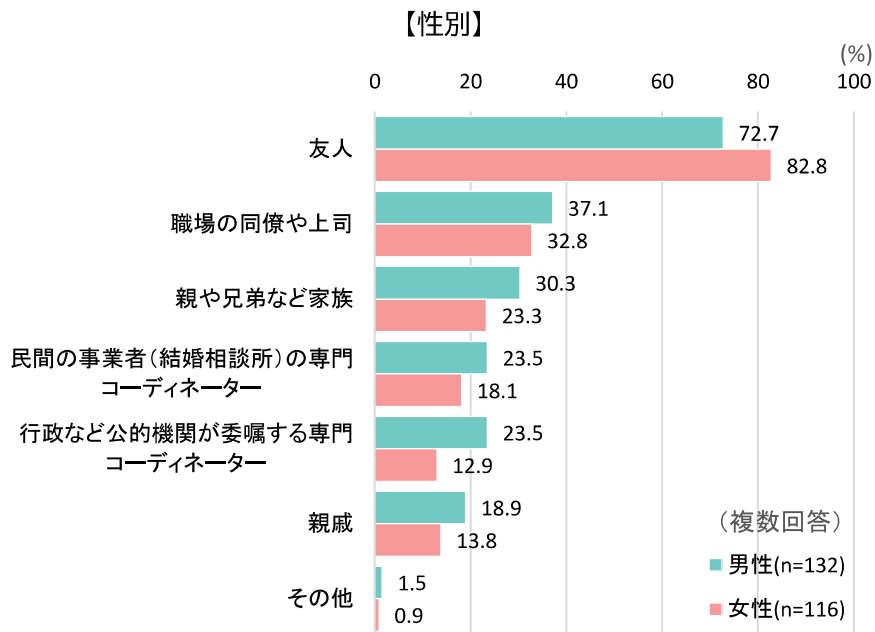
男女別で見ると、「友人」と回答した人は女性の方が男性よりも 10 ポイント高くなっている。一方、「公的機関が委嘱する専門コーディネーター」と回答した人は男性の方が女性よりも 11 ポイント程度高くなっている。

年代別で見ると、「友人」と回答した人は 20 代では 90.5%であるが、30 代、40 代では 70%程度となっている。

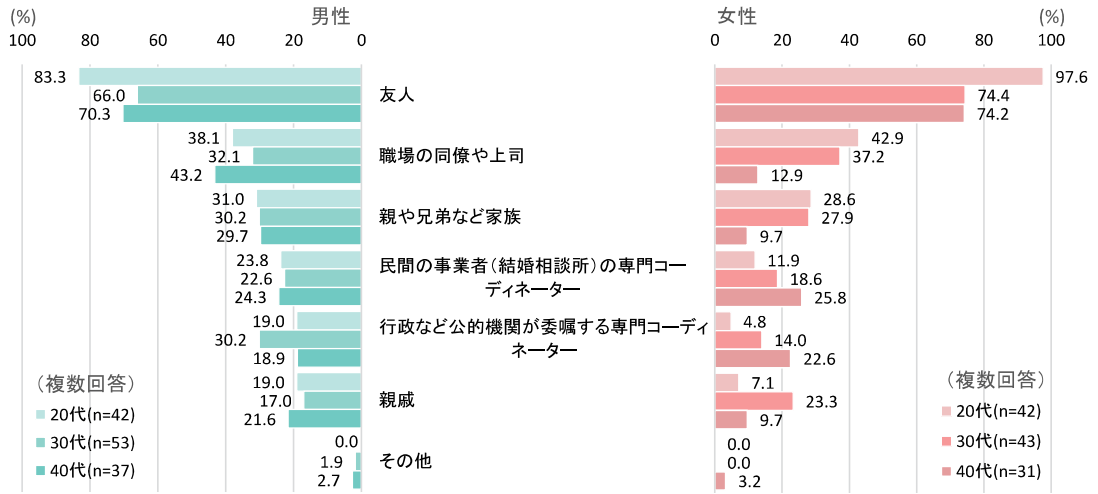
#### 【全体】





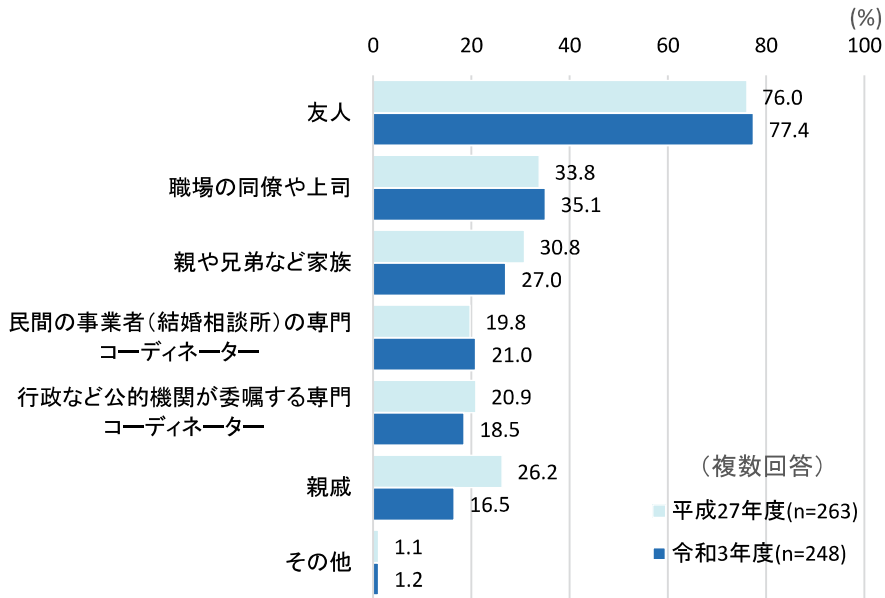


### 【性年代別】



平成 27 年度と比較すると、「親戚」と回答した人は 10 ポイント程度減少している。

### 【平成 27 年度調査との比較】



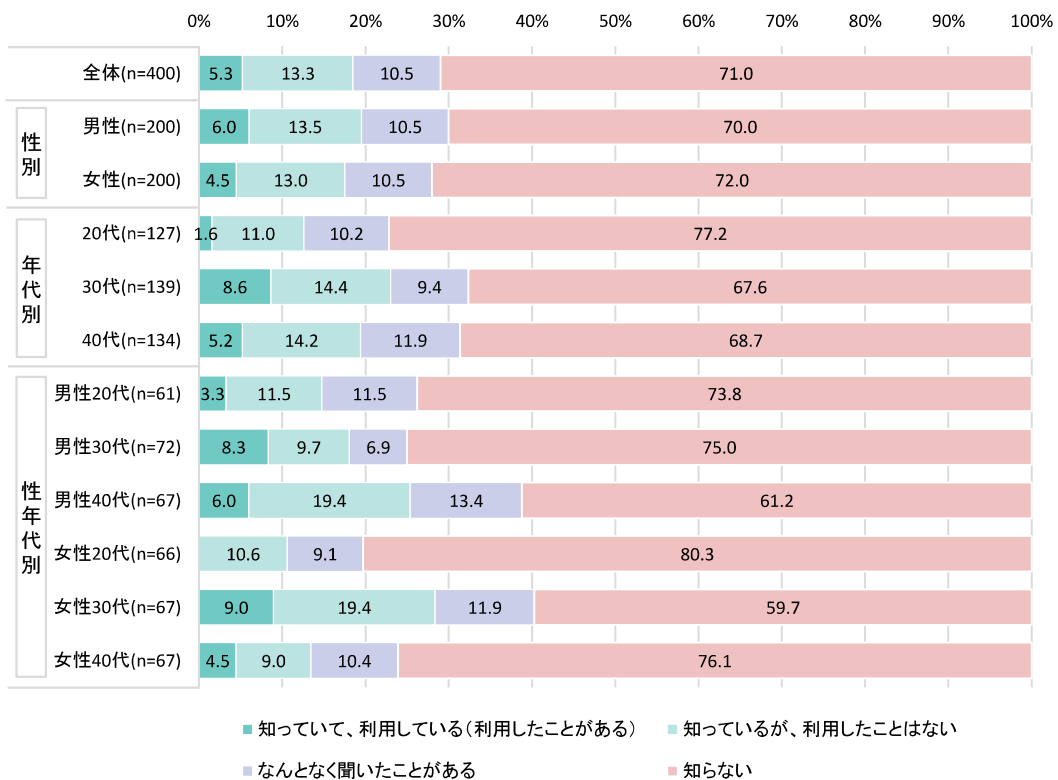
あなたは、「島根はっぴいこーでいねーたー(愛称:はっぴこ)を知っていますか。

※『はっぴこ』とは、独身男女の結婚応援をするボランティアの方です。結婚を望む独身男女の相談に応じ、出会いのきっかけづくりを行っています。

『はっぴこ』について「知っている・聞いたことがある」人は、全体では 29%、実際に利用経験がある人は 5.3%となっている。

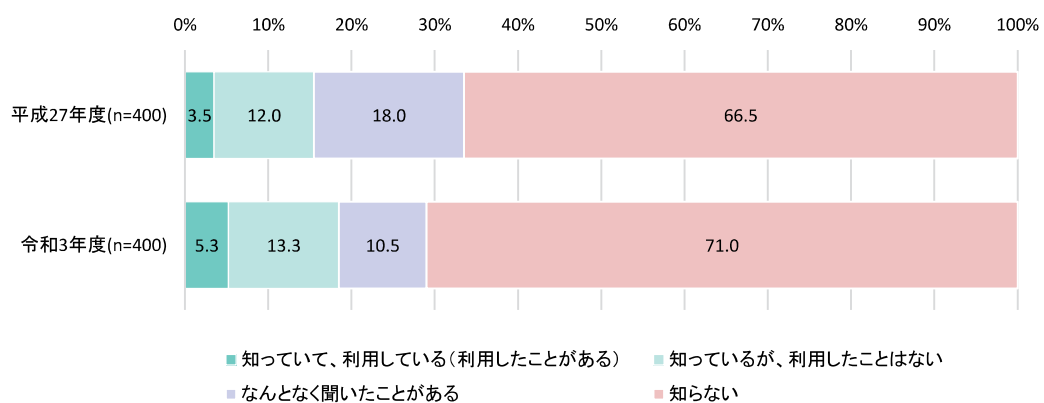
男女別で見ると、各回答の割合に大きな差は見られない。

年代別で見ると、「知っている・聞いたことがある」人は 30 代が 32.4%で最も多く、次いで多いのは 40 代で 31.3%となっている。20 代では 22.8%にとどまっている。



平成 27 年度と比較すると、「知っている・聞いたことがある」人は 4 ポイント程度減少している。

【平成 27 年度調査との比較】



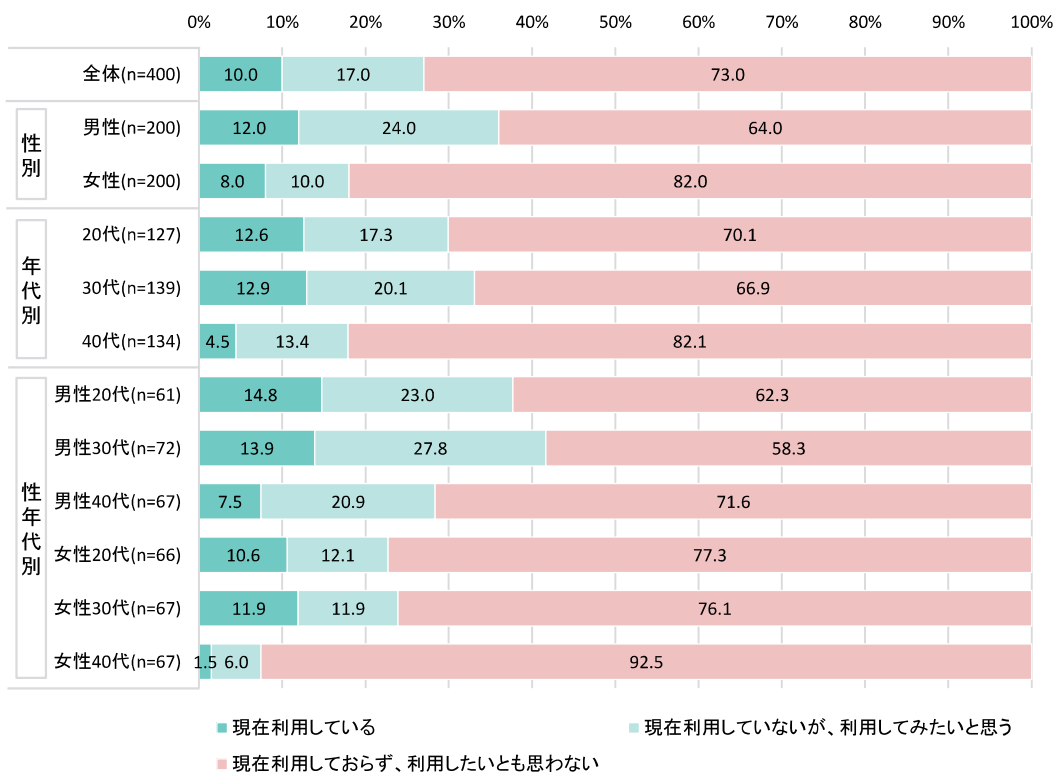
あなたは現在マッチングアプリを利用していますか。

※マッチングアプリとは、恋愛や結婚などの出会いを目的とした有料アプリのことです。一般的には、写真を登録して、プロフィール等(自己紹介や相手への希望等)を開示し合い、気に入った相手同士でマッチングが成立するものです。

マッチングアプリの利用状況を聞いたところ、全体では 10%の人が「現在利用している」と回答している。

男女別で見ると、「現在利用している」人の割合は男性の方が女性よりも 4 ポイント高く、また、「現在利用していないが、利用してみたいと思う」人の割合も男性の方が女性よりも 14 ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「現在利用している」人の割合は 20 代、30 代ともに 12%程度あるのに対し、40 代では 4.5%にとどまっている。

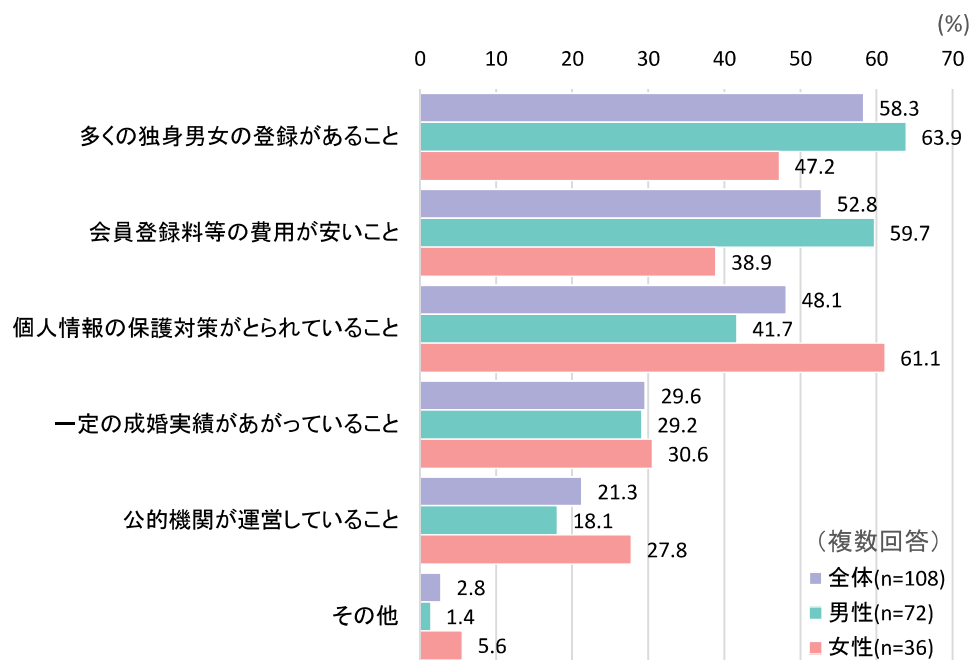


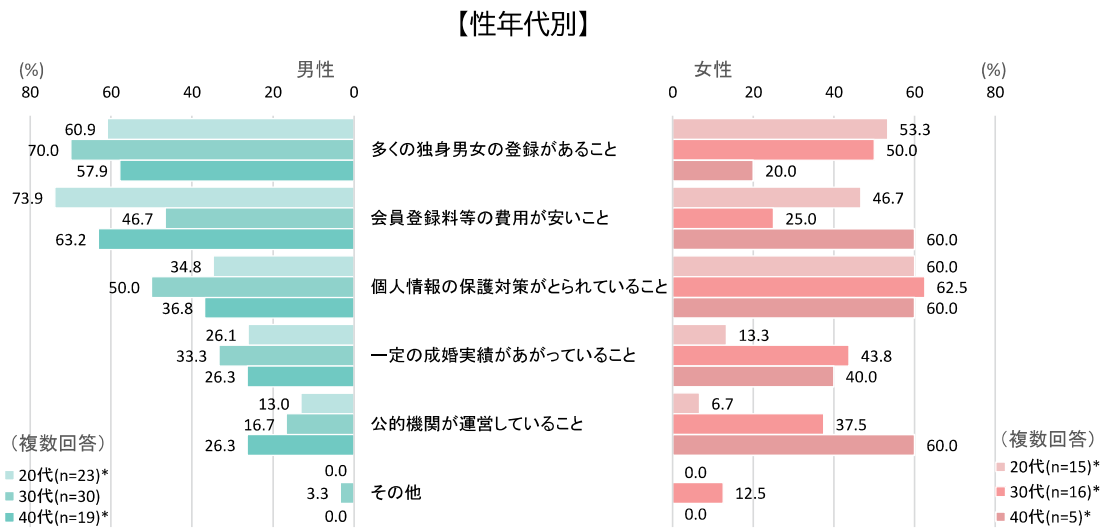
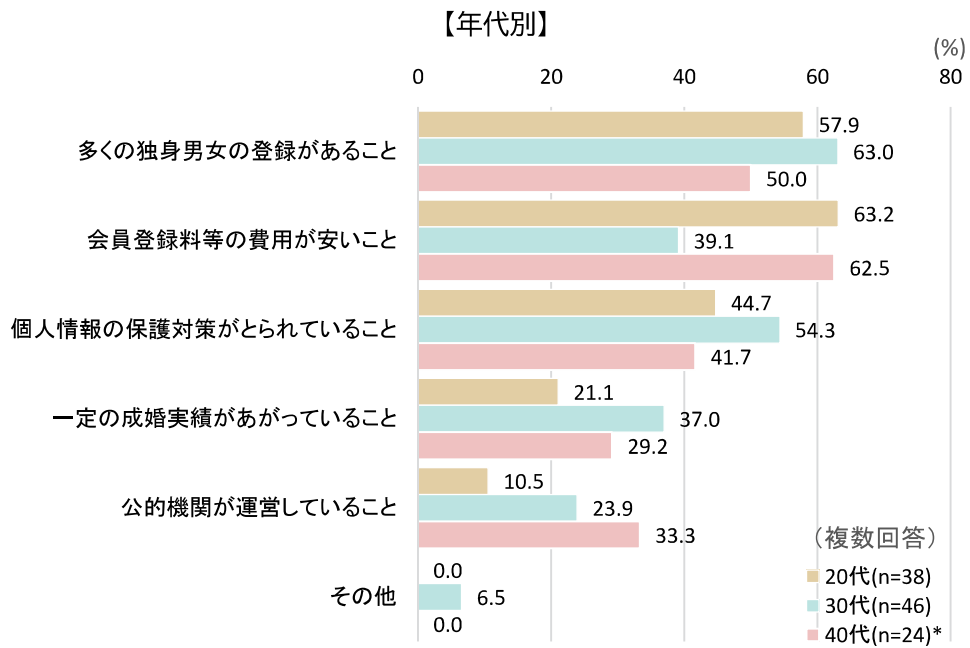
前問で「現在利用している」「現在利用していないが、利用してみたいと思う」とお答えの方にお伺いします。マッチングアプリを選ぶ際に決め手となるものは何ですか。あてはまるものを 3 つまでお選びください。

マッチングアプリを選ぶ際に決め手になるものは、全体では「多くの独身男女の登録があること」が 58.3%で最も多く、「会員登録料等の費用が安いこと」52.8%、「個人情報の保護対策がとられていること」48.1%と続いている。

男女別で見ると、「会員登録料等の費用が安いこと」は 21 ポイント程度、「多くの独身男女の登録があること」は 17 ポイント程度男性の方が女性よりも高くなっている。一方、「個人情報の保護対策がとられていること」は 19 ポイント程度女性の方が男性よりも高くなっている。

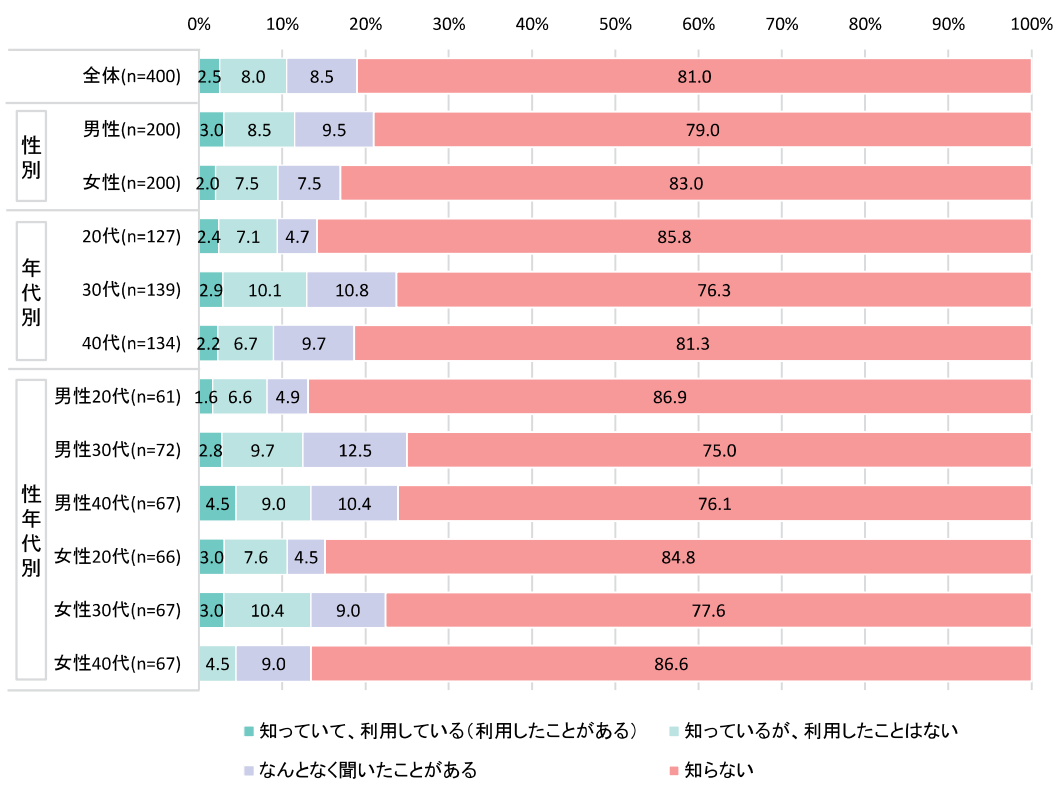
【全体・性別】





あなたは、「しまねコンピューターマッチング『しまコ』」を知っていますか。  
 ※『しまコ』とは、結婚を希望する独身男女が専用のタブレット端末上で自身のプロフィールを登録し、お相手の情報を閲覧し、会いたい人を選んでお引き合わせの申し込みを行います。お引き合わせの際には、縁結びボランティア(サポーター)が同席します。

『しまコ』について「知っている・聞いたことがある」人は、全体では19%であり、実際に利用経験がある人は2.5%となっている。  
 男女別で見ると、各回答の割合に大きな差は見られない。  
 年代別で見ると、「知っている・聞いたことがある」人は30代が23.7%で最も多く、次いで多いのは40代で18.7%、20代では14.2%となっている。40代女性で実際に利用経験がある人は0人だった。



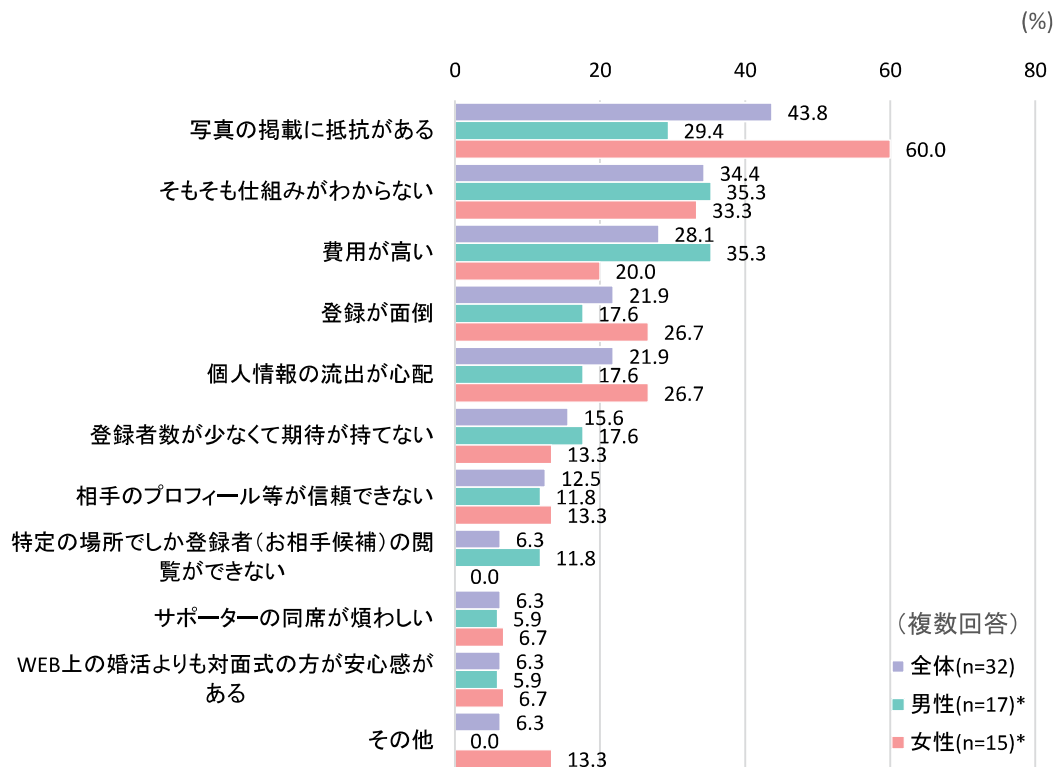


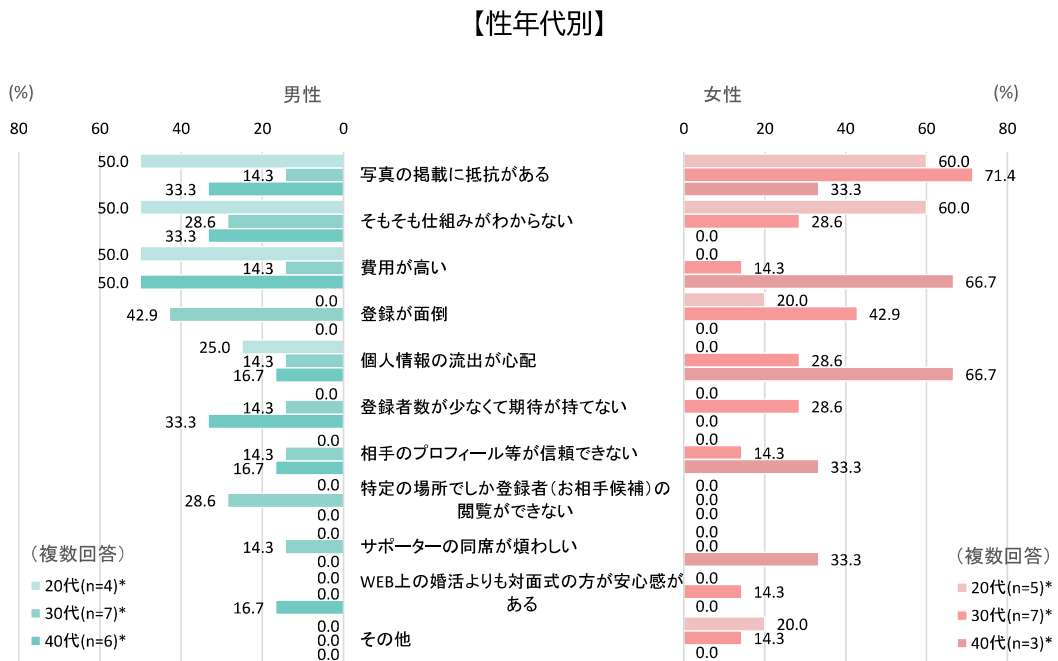
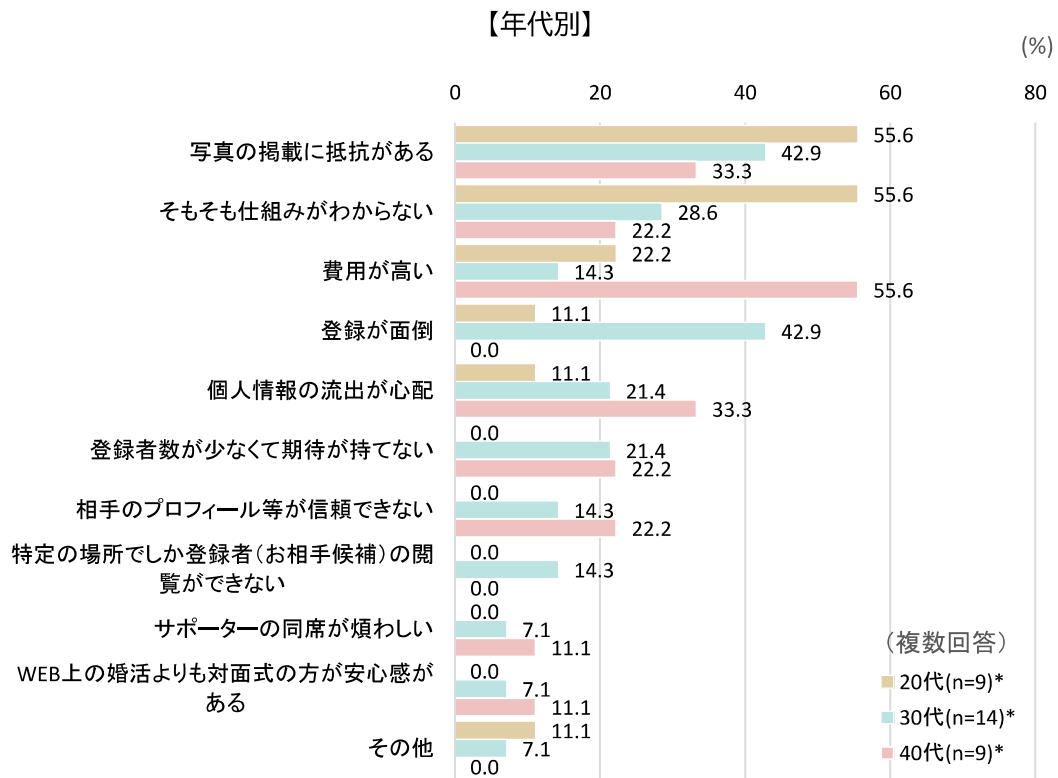
前問で「知っているが、利用したことはない」とお答えの方にお伺いします。

『しまコ』を利用しない理由は何ですか。あてはまるものを3つまでお選びください。

『しまコ』を利用しない理由について聞いたところ、全体では「写真の掲載に抵抗がある」が43.8%で最も多く、「そもそも仕組みがわからない」34.4%、「費用が高い」28.1%と続いている。

### 【全体・性別】





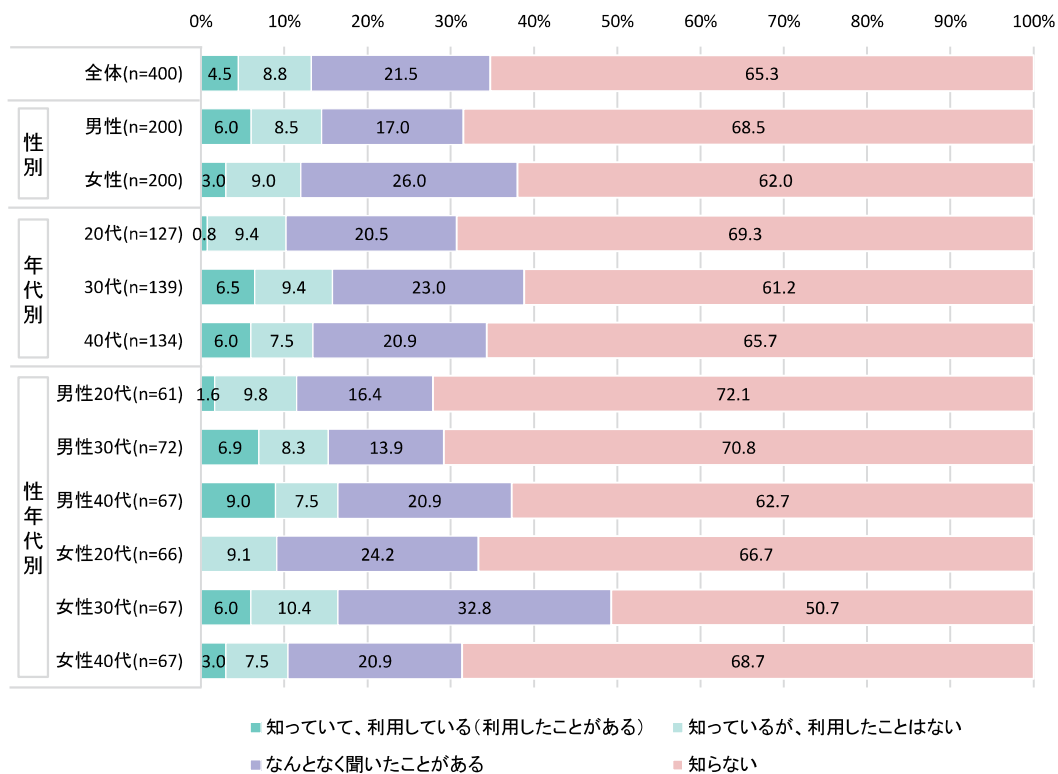
あなたは、「しまね縁結びサポートセンター」を知っていますか。

※しまね縁結びサポートセンターは、島根県から委託を受け、結婚を望む独身男性・女性を対象に、コーディネーターによる結婚相談、縁結びボランティア「はぴこ」の紹介、しまねコンピューターマッチング「しまコ」の運用、イベント・セミナーの情報提供などを行っている一般社団法人です。

「しまね縁結びサポートセンター」について「知っている・聞いたことがある」人は、全体では34.8%であり、実際に利用経験がある人は4.5%となっている。

男女別で見ると、「知っている・聞いたことがある」人の割合は女性の方が男性よりも7ポイント程度高くなっている。

年代別で見ると、「知っている・聞いたことがある」人の割合は30代が38.8%で最も多く、次いで多いのは40代で34.3%、20代では30.7%である。20代女性で実際に利用経験がある人は0人だった。



前問で「知っていて、利用している(利用したことがある)」「知っているが、利用したことはない」「なんとなく聞いたことがある」とお答えの方にお伺いします。

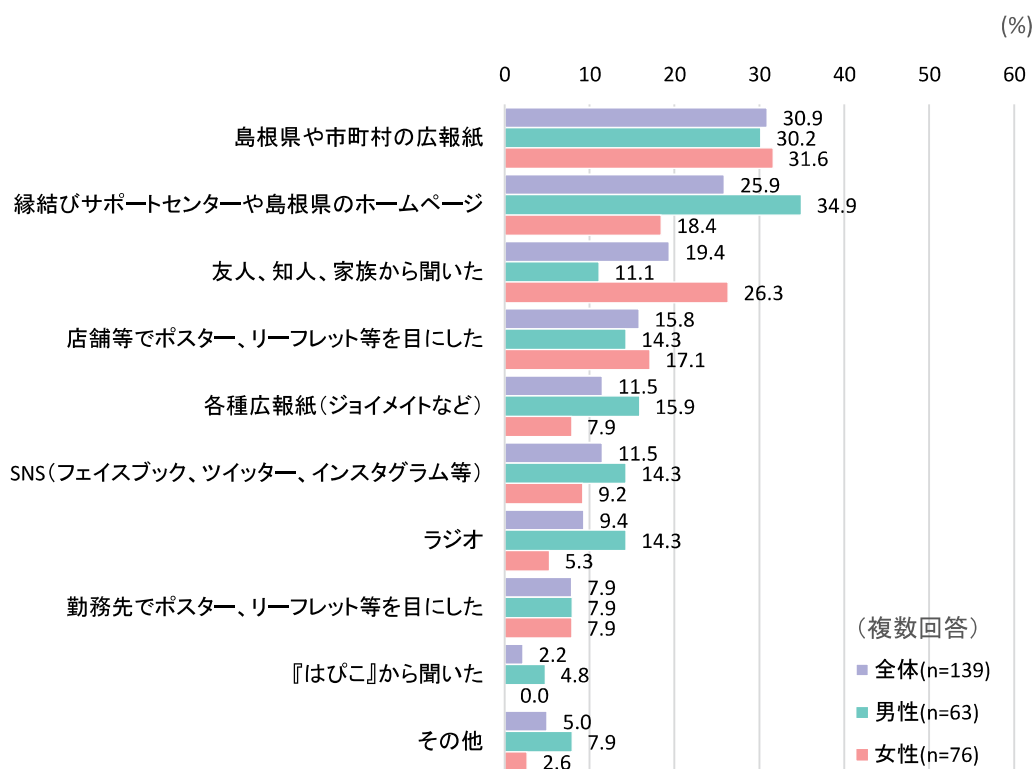
「しまね縁結びサポートセンター」を何で知りましたか。(いくつでも)

「しまね縁結びサポートセンター」を何で知ったか聞いたところ、全体では「島根県や市町村の広報紙」が 30.9%で最も多く、次いで多いのは「縁結びサポートセンターや島根県のホームページ」で 25.9%となっている。

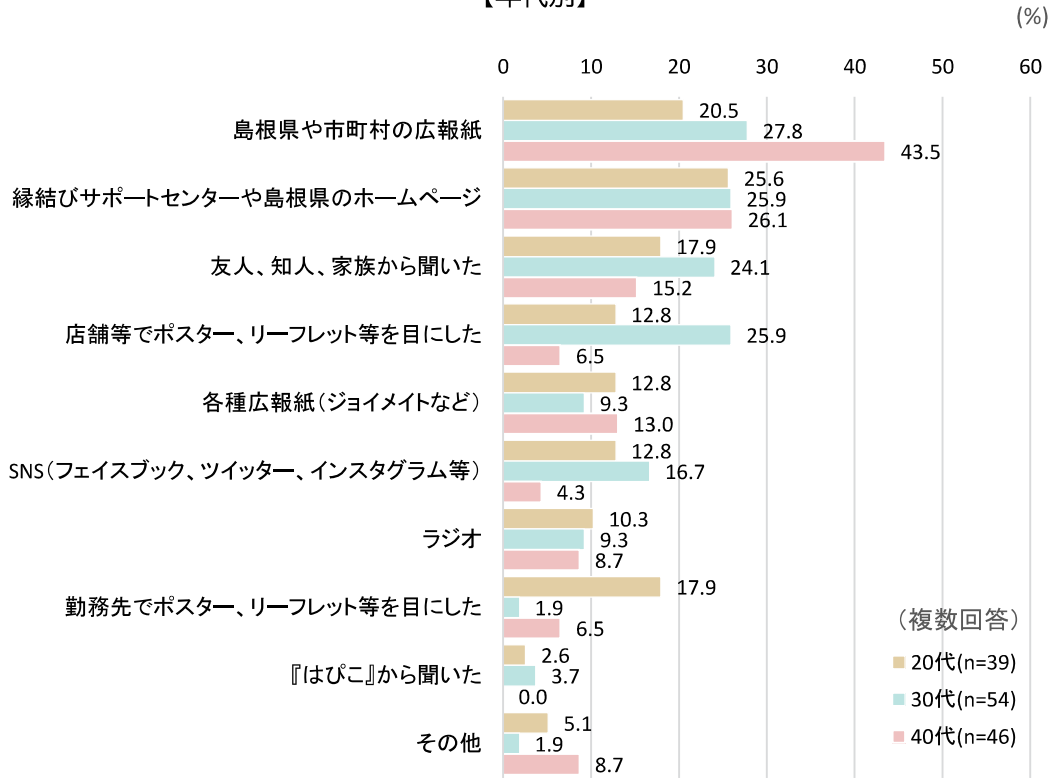
男女別で見ると、「縁結びサポートセンターや島根県のホームページ」と回答した人の割合は男性の方が女性よりも 17 ポイント程度高くなっている。一方、「友人、知人、家族から聞いた」と回答した人の割合は女性の方が男性よりも 15 ポイント程度高くなっている。

年代別で見ると、年代が高いほど「島根県や市町村の広報紙」と回答した人の割合が高くなっている。20 代では「縁結びサポートセンターや島根県のホームページ」が 25.6%で最も多く。また、30 代女性では「友人、知人、家族から聞いた」「店舗等でポスター、リーフレット等を目にした」がそれぞれ 30.3%で最も多くなっている。

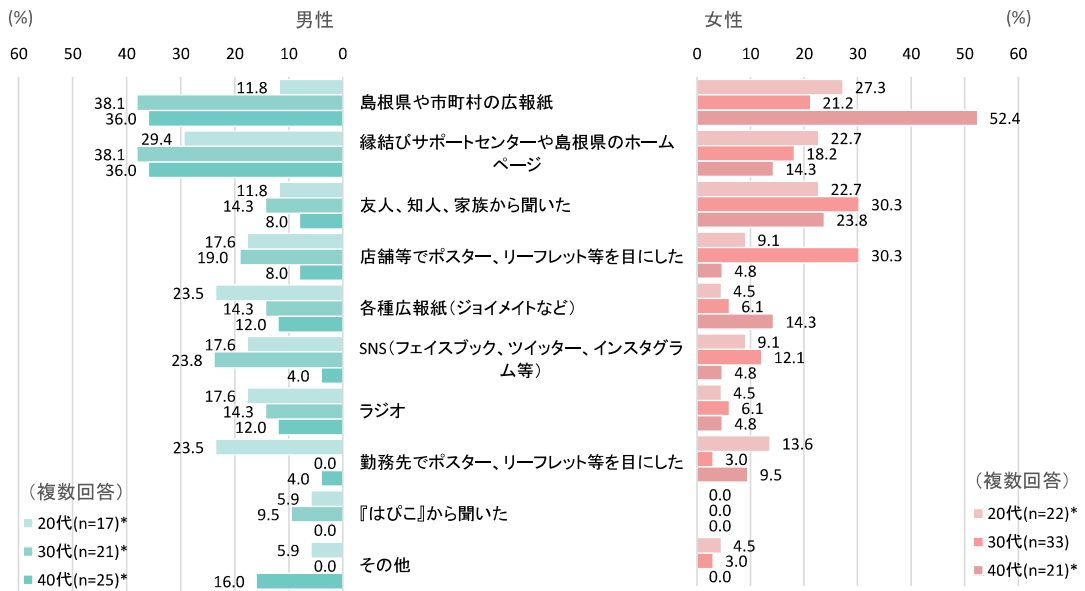
【全体・性別】



【年代別】



【性年代別】



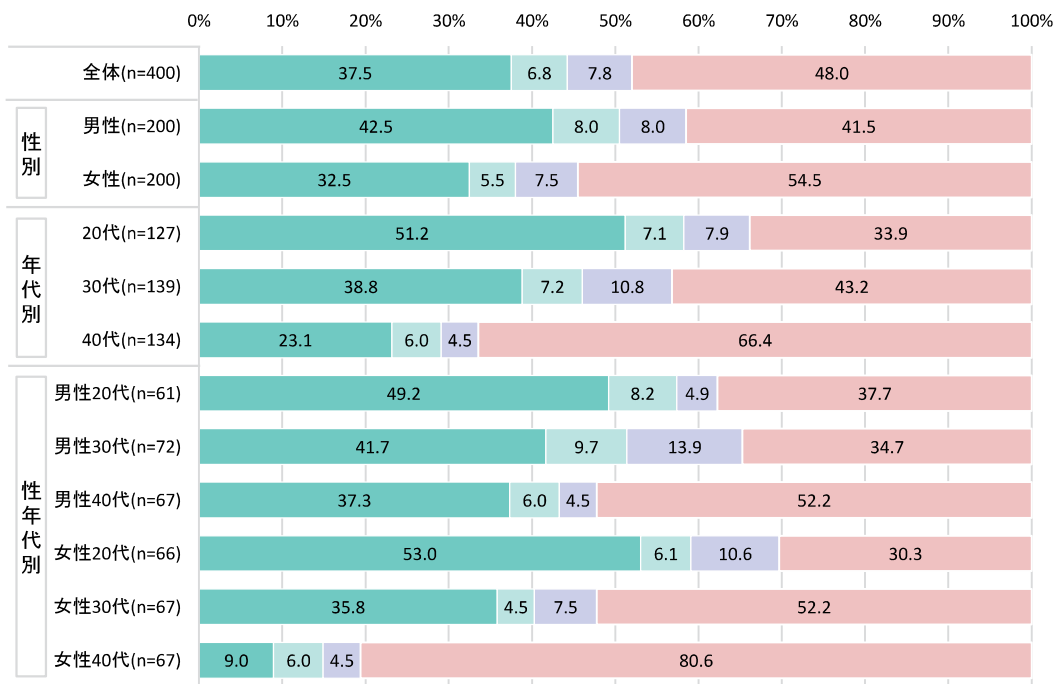
## (6) コロナ禍における結婚について

あなたは、コロナ禍を機に昨年から今年にかけて結婚に対する気持ちの変化はありましたか。

コロナ禍を機に結婚に対する気持ちに変化があったか聞いたところ、「変化があった」のは全体の 14.5%で、「コロナ禍で結婚願望がでてきた(強まった)」人が 7.8%、「コロナ禍で結婚願望がなくなった(弱まった)」人が 6.8%であった。

男女別で見ると、「もともと結婚願望はあり、コロナ禍による変化はない」は 10 ポイント男性の方が女性よりも高く、また、「もともと結婚願望はなく、コロナ禍による変化はない」は 13 ポイント女性の方が男性よりも高くなっている。

年代別で見ると、年代が高いほど「もともと結婚願望はあり、コロナ禍による変化はない」は少なくなり、「もともと結婚願望はなく、コロナ禍による変化はない」は多くなっている。



- もともと結婚願望はあり、コロナ禍による変化はない
- もともと結婚願望はあったが、コロナ禍でなくなった(弱まった)
- もともと結婚願望はなかったが、コロナ禍ででてきた(強まった)
- もともと結婚願望はなく、コロナ禍による変化はない

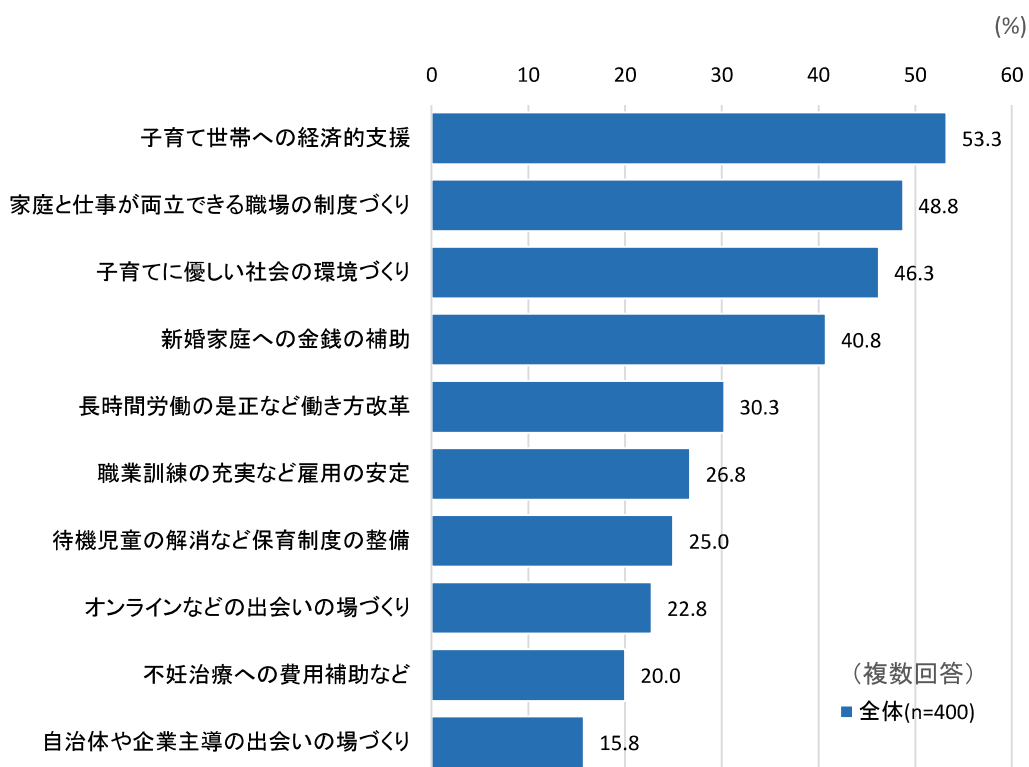
コロナ禍においても婚姻や出産が増えるためにはどのような支援が必要だと思いますか。  
(いくつでも)

コロナ禍においても婚姻や出産が増えるために必要な支援について聞いたところ、全体では「子育て世帯への経済的支援」が 53.3%で最も多く、「家庭と仕事が両立できる職場の制度づくり」48.8%、「子育てに優しい社会の環境づくり」46.3%、「新婚家庭への金銭の補助」40.8%、「長時間労働の是正など働き方改革」30.3%と続いている。

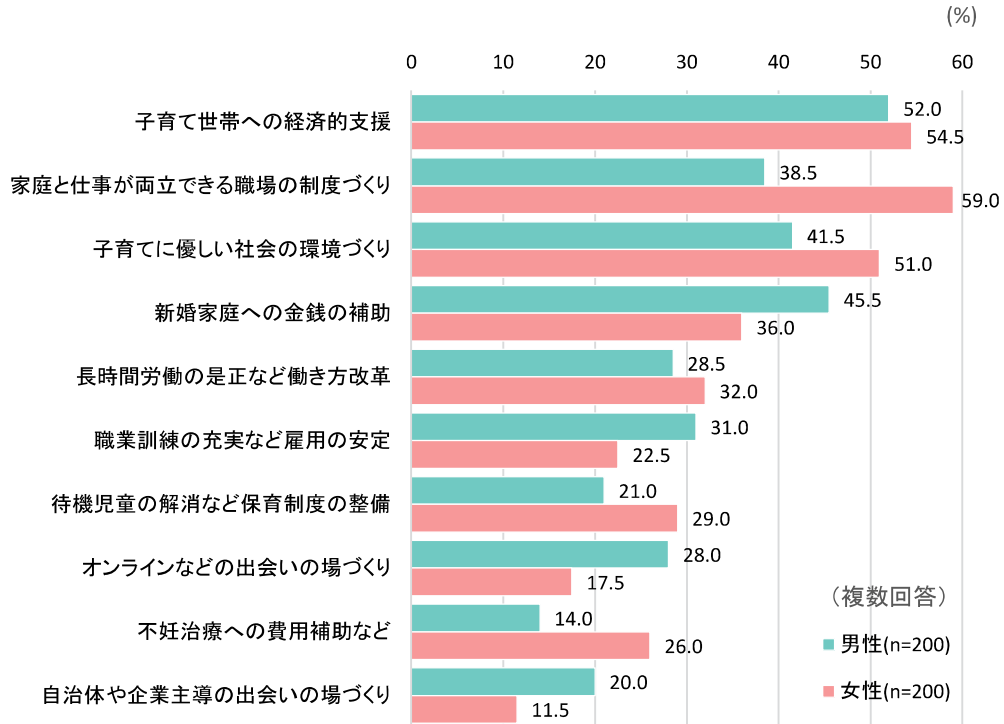
男女別で見ると、「家庭と仕事が両立できる職場の制度づくり」は 21 ポイント程度、「不妊治療への費用補助」は 12 ポイント女性の方が男性よりも高くなっている。一方、「オンラインなどの出会いの場づくり」は 11 ポイント程度男性の方が女性よりも高くなっている。

年代別で見ると、年代が若いほど、「子育て世帯への経済的支援」、「新婚家庭への金銭の補助」と回答する人の割合が高くなっている。

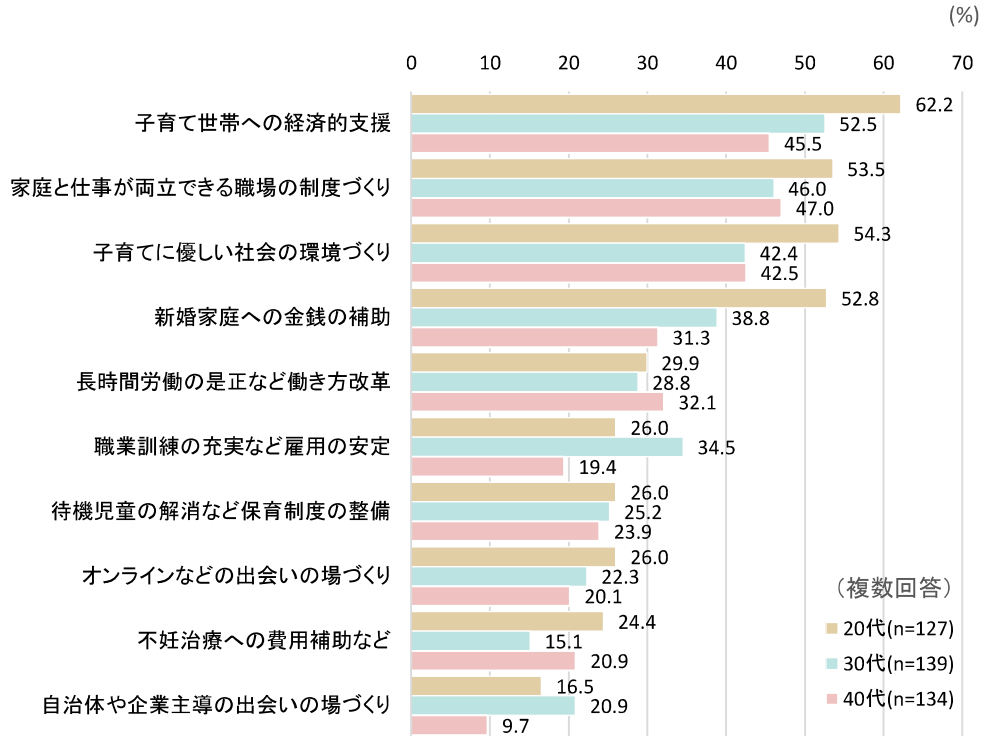
【全体】



【性別】



【年代別】





### 【性年代別】

